

第七十三回 帝國議會
衆議院

臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄(速記)第二十回

(二七七)

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)	臨時租稅增徵法中改正法律案(政 府提出)
相續稅法中改正法律案(政府提出)	登錄稅法中改正法律案(政府提出)
支那稅法中改正法律案(政府提出)	酒造稅法中改正法律案(政府提出)
(政府提出)	酒精及酒精含有飲料稅法中改正法 律案(政府提出)
麥酒稅法中改正法律案(政府提出)	大正九年法律第十二號中改正法律 案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)
臨時利得稅法中改正法律案(政府提 出)	支那稅法中改正法律案(政府提出)
臨時租稅增徵法中改正法律案(政府 提出)	本邦内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ 關スル法律案(政府提出)
日滿國稅徵收事務共助法案(政府提出)	本邦内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ 關スル法律案(政府提出)
○高橋委員長 開會ヲ致シマス	○板谷委員 資本利子稅ノ基礎トナルベ キ、甲種乙種ノ金額ノ總額ガ分ッテ居リマシ タラ、今御知ラセラ願ヒタイ
○大矢政府委員 調べマシテ後刻御知ラセ 致シマス	○大矢政府委員 調べマシテ後刻御知ラセ 致シマス
○板谷委員 減價銷却ニ關スル資料モ要求 シテ置キマシタガ、ソレガマダ御提出ガナ イノデアリマスガ、ソレハ成ベク早ク御出 シヲ願ヒタイ	○板谷委員 減價銷却ニ關スル資料モ要求 シテ置キマシタガ、ソレガマダ御提出ガナ イノデアリマスガ、ソレハ成ベク早ク御出 シヲ願ヒタイ
○大矢政府委員 今日中ニ提出スル積リデ ゴザイマス	○大矢政府委員 今日中ニ提出スル積リデ ゴザイマス
麥酒稅法中改正法律案(政府提出)	麥酒稅法中改正法律案(政府提出)
大正九年法律第十二號中改正法律案(所 得稅法ノ施行ニ關スル件)(政府提出)	大正九年法律第十二號中改正法律案(政府提出)
支那稅法中改正法律案(政府提出)	支那稅法中改正法律案(政府提出)
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)	臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)
第六類第六號 臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄 第二十回 昭和十三年三月十二日	第六類第六號 臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄 第二十回 昭和十三年三月十二日

○高橋委員長　此場合政府ニ御註文申シテ

年毎年其純益ノ決定ハ前年ノ實績ニ依ツテ

ニナツタト云フヤウナ場合ニ、假ニ十二月末

ソレガ法人組織ニ變更シタ場合ニハ、引續キ

ト思ヒマスカラ、資料ノ残ツテ居ル分モ成ベ
置キハスカ成ヘク質問モ送ニ給丁シ外ハ

課税ヲ受ケル、一年遅レニ順繰リニ計算サ
レテ決定サレテ行クノデゴザイマス、然ル

ニ於キ、シテ之ヲ法人組織ニ至シ、ノ
バ、十三年分トシテハ法人トシテ營業ヲ

個人營業デヤッテ居ル者トノ間ニ於テ、稅ノ負擔ニ於テ權衡ヲ得ナイ點ガアルノデゴザ

ク速ニ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス、御提出ノ出來ナイヤウナモノハ、是ト是ダト云フコトヲ委員長ノ手許マデ書取シテ廻シテ置イテ戴クト結構ダト思ヒマス——勝君此

ニ個人營業ヲ法人組織ニ變更ヲ致シマスルト、法人組織ニ變更シタ後ニ於テハ、個人ノ營業ノ實體ガナイノデゴザイマスカラ、隨テ個人トシテノ所得又ハ純益ノ決定ハ受

致シテ居リマスカラ、個人ノ營業純益、第
三種所得トシテノ決定ハ受ケナイノデアリ
マス、サウシテ十二年分トシテヘ、十二年
ノ實績ニ依ツテ課稅ヲ受ケテ居ルノデゴザ

イマス、近年經濟界が好況ニナルト共ニ、
毎年々々此利益ノ増加ノ著シイモノガアル
ノデゴザイマシテ、各地ノ調査委員會、殊
ニ主トシテ東京市、大阪市等ノ大都市ニ

○勝委員 少シ残ッテ居リ マスカラ 同ヒ
マスガ、支那事變特別稅法案ノ第七條ニハ
「第三種ノ所得ニ付所得金額決定後翌年所

ケナイノデゴザイマス、法人ト致シマシテハ
第一事業年度以降各事業年度ノ實績ニ依テ
テ課税サレルノデゴザイマス、此様ニナッテ
居ル結果ト致シマシテ、通常ノ利益状態ノ

イマス、他ノ引續キ個人營業ヲ營ンデ居ル者ハ、十三年分モ營業ノ實體ガアルノデゴザイマスカラ、其十二年分ノ實績ニ基イテ決定ヲ受ケル、此者モ先程申上ゲタ法人組

於テデゴザイマスガ、此者ハ去年大分儲カツタ筈ダガ、今年ノ提案ノ中ニナイガドウ云フ譯ダト云フヤウナコトヲ、調査委員ノ方カラ御尋ヲ受ケテ、實ハ斯ウ云フ

得金額決定前ニ於テ營業ヲ法人ニ繼續セシタル者ノ當該營業ノ實際所得額ガ決定所得額ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ハ之ヲ所得金額ノ決定ニ付脱漏アリタルモノト看做シ翌年ニ於ケル所得調査委員會ノ調査ニ依リ政府ニ於テ其ノ所得金額ヲ決定スルコトヲ得」ト云フ規定ガアリマス、是ハ今マテ餘リ見慣レナイ規定デアリマスガ、ドウ云フ理由、ドウ云フ御趣旨デ此實行ヲナサラントスルノデアルカ、詳シク御説明ヲ願ヒ

場合ハ、何等他ノ引續キ個人營業トシテヤッ
テ居ルモノトノ間ニ、其法人ノ組織ヲ變更
シタ爲ニ不均衡モ起ツテ來ナイノデゴザイ
マスガ、偶々或年ニ於テ所得年額、營業純益
金額ノ決定後ニ、其年分ノ實績ヲ見マスト、
著シク利益ノ増加スルト云フ場合ガアルノ
デゴザイマス、モウ一遍詳シク申上ゲマス
ト、第三種ノ所得、個人ノ營業純益ノ決定
ハ、毎年五月ニ調査委員會ノ議ニ附シマシ
テ、之ヲ決定スルノデゴザイマス、隨テ之
ヲ十二年分ニ付テ見マスト、十二年分ノ決

織ニ變更シタ者ト、恰度十二年ガ同ジヤウ
ナ業況デアツタ致シマスレバ、十三年分ニ
付キマシテハ、引續キ個人デ營業シテ居ル
者ハ十二年ノ澤山利益ノアツタ實績ニ依ッテ
課稅ヲ受ケルノデゴザイマスガ、法人組織
ニ變更シタモノハ、其增加シタ部分ノ課稅
ハ受ケナイデ濟ムノデゴザイマス、勿論法
人組織ニ變更シタモノハ、十三年以降ニ於
キマシテハ法人トシテノ課稅ハ受ケマス
ガ、是ハ何處マデモ十三年ノ實績ニ依ッテ課
稅ヲサレルノデアリマシテ、十二年ノ實績

譯デ法人組織ニナツタ爲ダト云フコトヲ説明致シマスト、ドウモ去年アンナニ儲カッタノヲ其儘逃ゲラレルト云フコトニナレバ甚ダ不公平デハナイカト云フコトガ、度々問題ニナルノゴザイマシテ、殊ニ昨年ノ臨時租稅増徵法、北支事件特別稅法、此度ニ依ヅテ稅ノ負擔ノ輕減ヲ計ルモノガ相當アルノデゴザイマシテ、引續キ個人營業ヲガ段々重クナツテ行クト、斯ウ云フ組織變更

○大矢政府委員 御承知ノ通り營業所得ハ、原則トシテ前年ノ實績ニ依ッテ本年分ヲ課稅スルノデゴザイマス、隨ヒマシテ個人ガ營業ヲズット引續キ致シテ居リマスレバ、毎

定八十一年ノ實績ニ依テ決定スル譯デゴ
ザイマスガ、然ルニ偶、或ル營業者ガ、十二
年ニ非常ニ業況ガ宜シクシテ、其利益ハ前
年ノ實績ニ對比致シマシテ一倍ニナリ三倍

ニ依ッテ課稅ヲ受ケルコトハナインデゴザ
イマス、斯ウ云フ點ヲ考ヘテ見マスルト、
十二年ニ決定ヲ受ケ、一年經ツテ其實績ガ決
定額ニ比シマシテ利益ガ著シク増加シタ、

年分ノ決定所得ニ對シテ、實績ガ增加シタモノニ對シテハ、其増加部分ニ對シテモ課稅ヲ致シタイト云フノガ、此第七條ヲ設ケタル趣旨デゴザイマス、勿論決定純益——決

定所得ニ對シテ僅カ一割トカニ二割トカ、少シ位ノ増加ガアツタ場合ニ於キマシテモ一々此規定ヲ適用シテ行カウト云フ考ハ持ッテ居ナイノデゴザイマシテ、此前ニモ申上ゲマシタ通り、大體其年分ノ決定所得決定純益ニ對シマシテ、五割以上モ實績ノ収益ガ增加シタト云フヤウナ場合ニ適用シテ行キタイト存ジテ居ル次第ゴザイマス

○勝委員 只今詳シ御説明ヲ承リマシタガ、私ハ極ク簡単ニ言ヒタイ、或ル營業者

ガ第一年ニ例ヘバ一万圓ノ營業所得ガアッタ、ソコデ第二年目ニ對シテハ其第一年ノ

實績ニ基イテ、一万圓ノ豫算ヲ以テ申告シ

所ガ第二年目ハ非常ニ景氣ガ好クナッタ爲

ニ、事實上ハ三万圓利益ガアツタ、ソレデア

ルカラ此人ハ第三年目ニハ第二年目ノ實績

ノ三万圓ニ基イテ三万圓ノ申告ヲシ決定ヲ

スペキ苦デアル、所ガ第三年目ニ個人ヲ

法人ニ組織變更ヲヤッタ、斯ウ云フヤウナ場

合ニ、儲テ昨年ハドウデアツカト言ウテ

稅務署ガ査定サレテ見タ所ガ、決定ハ一万圓デアツタガ實績ハ三万圓デアツカ、後

ノ二万圓ヲ追ッ掛ケテ取ラウ、斯ウ云フ規定

ナンデセウ

○大矢政府委員 其通リデゴザイマス

○勝委員 ソレデヲカシイノデス、是ガ個人デ其儘行キマスレバ、第一年目ガ一万圓デアッテ、其通リ申告ヲシテ第二年目ハ一万圓ト決定ヲ受ケル、第二年目ノ實績ハ三万圓デアル、今度ハ第三年目ハ三万圓ト申告ヲシテ三万圓ノ決定ヲ受ケテ、事實三万圓ノ所得ガ其儘アツタナラバ、ソレデ宜イ譯ヂヤアリマセヌカ、然ルニソレヲ調べテ見タ所ガ、第二年目ハ申告ヨリモ三倍ノ實績ガアツタカラ、口惜シイカラソレニ基イテ稅ヲ取ラウト言フノデスカ

○大矢政府委員 ソコハ少シ違ヒマス、第三年目ニハ法人ニ組織ヲ變更シテ居ルガ爲

ニ、第三年目トシテノ三万圓ノ決定ハ受ケ

ナイ譯デゴザイマス

○勝委員 ソレハ分ッテ居リマスガ、今度ハ

第四年目ニ、其人ガ第三年目ノ實績ニ基イ

テ三万圓ト申告ヲヤッテ、今度稅務署ガ三万

円ト決定シタ、其時ニ景氣ガ悪クナッテウ

ント所得ガ減ッタト云フヤウナ場合ニ於テ

モ、前年ノ三万圓ノ實績ガアルノデアルカ

ラ、減損更訂ニ引掛ル場合ノ外ハ減額ヲシ

テヤラナイ、ソコデ取戻シガ付ク、然ルニ

シテ第三年目ノ初ニ法人ニ組織ヲ變更シ

テ實績課稅ニナッテシマッタカラ、第四年目ニ「スラック」ヲ喰ッテモ實績デシカ取レナイ

ト云フコトニナル、ソコデ法人ト個人トノ間ニ不權衡ガ起ルト云フ結論ニシカナラナイシ位ノ增加ガアツタ場合ニ於キマシテモ一々此規定ヲ適用シテ行カウト云フ考ハ持ッテ居ナイノデゴザイマシテ、此前ニモ申上ゲマシタ通り、大體其年分ノ決定所得決定純益ニ對シマシテ、五割以上モ實績ノ収益ガ增加シタト云フヤウナ場合ニ適用シテ行キタイト存ジテ居ル次第ゴザイマス

○勝委員 ソレデヲカシイノデス、是ガ個人デ其儘行キマスレバ、第一年目ガ一万圓デアッテ、其通リ申告ヲシテ第二年目ハ一万圓ト決定ヲ受ケル、第二年目ノ實績ハ三万圓ト申告ヲ受ケテ、事實三万圓ノ所得ガ其儘アツタナラバ、ソレデ宜イ譯ヂヤアリマセヌカ、然ルニソレヲ調べテ見タ所ガ、第二年目ハ申告ヨリモ三倍ノ實績ガアツタカラ、口惜シイカラソレニ基イテ稅ヲ取ラウト言フノデスカ

○大矢政府委員 ソコハ少シ違ヒマス、第三年目ニハ法人ニ組織ヲ變更シテ居ルガ爲

ニ、第三年目トシテノ三万圓ノ決定ハ受ケ

ナイ譯デゴザイマス

○勝委員 ソレハ分ッテ居リマスガ、今度ハ

第四年目ニ、其人ガ第三年目ノ實績ニ基イ

テ三万圓ト申告ヲヤッテ、今度稅務署ガ三万

円ト決定シタ、其時ニ景氣ガ悪クナッテウ

ント所得ガ減ッタト云フヤウナ場合ニ於テ

モ、前年ノ三万圓ノ實績ガアルノデアルカ

ラ、減損更訂ニ引掛ル場合ノ外ハ減額ヲシ

テヤラナイ、ソコデ取戻シガ付ク、然ルニ

シテ第三年目ノ初ニ法人ニ組織ヲ變更シ

テ實績課稅ニナッテシマッタカラ、第四年目ニ「スラック」ヲ喰ッテモ實績デシカ取レナイ

ト云フコトニナル、ソコデ法人ト個人トノ間

ニ不權衡ガ起ルト云フ結論ニシカナラナイ

トニナッテ居ルノハドウ云フ譯デスカ

○大矢政府委員 是ハ昨年ノ實績ニ對シテ

此規定ヲ適用シテ行カウト云フ趣旨デゴザ

ト云フ取り方ガ惡イノデアッテ、總テガ前年

ノ實績デ取ッテ居レバ斯ウ云フコトハ起ラ

ナイ、是ハ先程大藏大臣ニモ申上ゲヨウト

ヤアリマセヌカ、然ルニソレヲ調べテ見タ

所ガ、第二年目ハ申告ヨリモ三倍ノ實績ガ

アツタカラ、口惜シイカラソレニ基イテ稅ヲ

思ッタ點デアツタケレドモ、言ハナカッタガ、

是ガ豫算主義デアルガ爲ノ不都合デアルト

思フ、ソコデ今政府委員ノ言ハレル所ニ依

レバ、第三年目ニ不振ニナッタカラ是レ()

ノ不都合デ、實績ヲ調べテ課稅ヲスルト云

フヤウニ仰シヤルガ、ソレハ私ガ申ス如ク

レバ後カラ追掛ケテ稅ヲ取ルゾト云

ラバ後カラ追掛ケテ稅ヲ取ルゾト云

規定期限ヲ超過シテ、普通ノ常識カラ考ヘテ見

ニナル、詰リ一年半程前ニ遡ッテ此法律ヲ

適用サセヨウト云フ規定デアル、如何ニモ

ニナル

會デ通過セントシテ居ルノデス、ソレヲ昭和十二年ノ實績ヲ捉ヘテ課稅ヲスルト云フヤウナ規定ヲスルノハ、餘リニ遡リ過ギテ居ル規定デアルヤウニ思ハレマス、此コトダケヲ申上ゲテ置キマス

ソレカラ所得稅ニ付キマシテ、今度ハ珍ラシイ規定ガアツテ、個人及ビ法人ノ所得稅ノ負擔額ニ最高限ヲ御決メニナッテ居ルヤウデス、是モ結構ナコトデアルト思フガ、個人ヲ百分ノ五十デ押ヘ、法人ヲ百分ノ五十五ニ押ヘタノ持ツテ行ツタ、此五ノ差ノ付イタ理由、茲ニハ何カ根據ガアルノデスカ

○大矢政府委員

法人ノ方ハ普通所得ノ百

分ノ五十デ押ヘマシタ結果、法人ノ納ムベキ各種ノ國稅及ビ附加稅ヲ總計致シマシテ、大體普通所得ノ七割トナル見込デゴザイマス、是ハ御手許ニモ資料トシテ差上ゲテ居得金額ノ百分ノ五十五ト致シマスト、附加稅マデモ加ヘテ見マスルトヤハリ大體百分ノ七十ト云フコトニナリマス、先づ最高七割マデノ課稅デ、是レ以上ハ無理デハナカラウカト存ジマシテ、制限規定ヲ設ケタ次第デゴザイマス

○勝委員

ソレデハ大體本稅及ビ各種ノ附

加稅ヲ併セテ百分ノ七十ト云フ見當デ押ヘタ、而シテ其七十マデ持ツテ行クニハ個人ハ

百分ノ五十、法人ハ百分ノ五十五デ丁度ソニ行クノデアルカラ、左様ニ決メタト斯様ニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○大矢政府委員

左様デハアリマスガ、法

人ノ方ハ普通所得ノ百分ノ五十、個人ノ方ハ所得金額ノ百分ノ五十五デアリマス

○勝委員

ソレカラ退職給與金五千圓ヲ超

ユルモノニ付テハ、百分ノ五乃至百分ノ三十ノ税率ヲ以テ課稅ヲスルコトニナッテ居リマスガ、是ハ何處ニ權衡ヲ取ツテ此税率ヲ盛ラレタノデアリマスカ、何カ根據ガアル

○大矢政府委員

法人ノ方ハ普通所得ノ百

分ノ五十デ押ヘマシタ結果、法人ノ納ムベ

キ各種ノ國稅及ビ附加稅ヲ總計致シマシテ、

大體普通所得ノ七割トナル見込デゴザイマ

ス、是ハ御手許ニモ資料トシテ差上ゲテ居

得金額ノ百分ノ五十五ト致シマスト、附加

稅マデモ加ヘテ見マスルトヤハリ大體百分

ノ七十ト云フコトニナリマス、先づ最高七

割マデノ課稅デ、是レ以上ハ無理デハナカラウカト存ジマシテ、制限規定ヲ設ケタ次

第デゴザイマス

超エナイ範圍ニ於テ、輕度ノ累進稅率トシタノデゴザイマス

○勝委員 次ハ相續稅ノ問題ヲ一ツ御尋致シマス、是ハ先日他ノ委員ノ方ノ質問ニ關

續ノ開始ノ時課稅スル譯ニハ行クマイト思フ、併ナガラ一千圓ヲ超エタル贈與ヲヤッタ

コニ行クノデアルカラ、左様ニ決メタト斯様ニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○大矢政府委員

左様デハアリマスガ、法

人ノ方ハ普通所得ノ百分ノ五十、個人ノ方ハ所得金額ノ百分ノ五十五デアリマス

○勝委員

ソレカラ退職給與金五千圓ヲ超

ユルモノニ付テハ、百分ノ五乃至百分ノ三十ノ税率ヲ以テ課稅ヲスルコトニナッテ居

○大矢政府委員

昭和十一年中ニ於キマシ

テ退職給與金ヲ得タ者ノ中主要ナルモノ數百名ニ付キマシテ調査シマシタ所ガ、其退

職給與額ヲ勤續年數ヲ以テ除シマシタ一箇年相當額ヲ毎年賞與トシテ支給セラル、モ

ノト假定致シマシテ、之ヲ退職當時ノ固有

ノ所得額ニ合算課稅スル場合ノ差増稅額ヲ

求メマスルト、退職給與金ノ年割額ニ對ス

ル課稅割合ハ一割三分五厘乃至二割三分九

厘ニ當ルノデアリマス、仍テ此課稅割合ヲ

止セラレルト云フコトハ當然ノコトデアル

テ相續稅ノ逋脱ヲ圖ラントスルヤウナ者ニ

對シテハ、政府ハ有ユル立法ヲ以テ之ヲ防

止セラレルト云フコトハ少シ腑ニ落チナイ、

トハ思ヒマスルケレドモ、之ヲ五千圓デ

押ヘタト云フコトハ少シ腑ニ落チナイ、

一體相續稅法ノ規定ニ依レバ、相續人又

ハ親族ノ者ニ一千圓未満ノ贈與ヲシタ場合

ミ於テハ、第二十三條ノ適用ヲシテ遺產相續ノ開始ノ時課稅スル譯ニハ行クマイト思フ、併ナガラ一千圓ヲ超エタル贈與ヲヤッタ

コニ行クノデアルカラ、左様ニ決メタト斯様ニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○大矢政府委員

左様デハアリマスガ、法

人ノ方ハ普通所得ノ百分ノ五十、個人ノ方ハ所得金額ノ百分ノ五十五デアリマス

○勝委員

ソレカラ退職給與金五千圓ヲ超

ユルモノニ付テハ、百分ノ五乃至百分ノ三十ノ税率ヲ以テ課稅ヲスルコトニナッテ居

○大矢政府委員

昭和十一年中ニ於キマシ

テ退職給與金ヲ得タ者ノ中主要ナルモノ數百名ニ付キマシテ調査シマシタ所ガ、其退

職給與額ヲ勤續年數ヲ以テ除シマシタ一箇年相當額ヲ毎年賞與トシテ支給セラル、モ

ノト假定致シマシテ、之ヲ退職當時ノ固有

ノ所得額ニ合算課稅スル場合ノ差増稅額ヲ

求メマスルト、退職給與金ノ年割額ニ對ス

ル課稅割合ハ一割三分五厘乃至二割三分九

厘ニ當ルノデアリマス、仍テ此課稅割合ヲ

止セラレルト云フコトハ當然ノコトデアル

テ相續稅ノ逋脱ヲ圖ラントスルヤウナ者ニ

對シテハ、政府ハ有ユル立法ヲ以テ之ヲ防

止セラレルト云フコトハ少シ腑ニ落チナイ、

トハ思ヒマスルケレドモ、之ヲ五千圓デ

押ヘタト云フコトハ少シ腑ニ落チナイ、

一體相續稅法ノ規定ニ依レバ、相續人又

出來ナクナル、甚ダ是ハ困ッタ立法デアルカ
ラ、何トカ考慮ヲシテ貰フ譯ニハ行クマイ
カト云フヤウナコトヲ申シテ參リマス、聞
イテ見レバ如何ニモ第二十三條ノ關係カラ
考ヘ、彼此レ考ヘテ見マスト相當無理ガアル
ヤウニ私ハ思フ、ソコデ私ハ此前ノ發言ノ
際ニモ申上ゲテ置イタ次第デアリマスガ、
前ニ御尋ヲシタ退職給與金ノ場合ニ於テハ、
五千圓ヲ超ユル金額ヲ相續財產ニ加ヘ
是ト同ジ筆法デ保険金額ヲ相續財產ノ價額ニ算入シ
テ課稅セントスル場合ニ於テモ、五千圓マ
デハ之ヲ見遁ス、五千圓ヲ超エタ金額ノミ
ニ課稅ヲスルト云フノガ均衡上至當デアラ
ウト思フノデアリマスガ、重ネテ之ニ對ス
ル政府委員ノ御所見ヲ伺ッテ置キマス

○大矢政府委員

自己ノ相續人其他ノ親族

ニ、千圓未満ノ金額ヲ贈與シタ場合ニハ第

二十三條ノ課稅ヲ受ケナイノハ仰セノ通り

デゴザイマス、併シ之ヲ毎年々々繰返シ

テ、必ズ五百圓ナラ五百圓、八百圓ナラ八

百圓ヅ、贈與スルト云フコトヲ致シマスル

場合ニ、一年毎ニ切ツテ千圓以上ニナルカ

ナラナイカラ見テ課稅ヲ決スルト云フ譯ニ

ハ行カナイノデハナカラウカト思ヒマス、

要スルニ千圓ニ達シナイ場合ニハ課稅シナ

イト云フノハ、普通ノ場合、一回ノ贈與ニ

カト云フヤウナコトヲ申シテ參リマス、聞
イテ見レバ如何ニモ第二十三條ノ關係カラ
考ヘ、彼此レ考ヘテ見マスト相當無理ガアル
ヤウニ私ハ思フ、ソコデ私ハ此前ノ發言ノ
際ニモ申上ゲテ置イタ次第デアリマスガ、
前ニ御尋ヲシタ退職給與金ノ場合ニ於テハ、
五千圓ヲ超ユル金額ニノミ課稅ヲシテ居ル、
是ト同ジ筆法デ保険金額ヲ相續財產ノ價額ニ算入シ
テ課稅セントスル場合ニ於テモ、五千圓マ
デハ之ヲ見遁ス、五千圓ヲ超エタ金額ノミ
ニ課稅ヲスルト云フノガ均衡上至當デアラ
ウト思フノデアリマスガ、重ネテ之ニ對ス
ル政府委員ノ御所見ヲ伺ッテ置キマス

○大矢政府委員

自己ノ相續人其他ノ親族

ニ、千圓未満ノ金額ヲ贈與シタ場合ニハ第

二十三條ノ課稅ヲ受ケナイノハ仰セノ通り

デゴザイマス、併シ之ヲ毎年々々繰返シ

テ、必ズ五百圓ナラ五百圓、八百圓ナラ八

百圓ヅ、贈與スルト云フコトヲ致シマスル

場合ニ、一年毎ニ切ツテ千圓以上ニナルカ

ナラナイカラ見テ課稅ヲ決スルト云フ譯ニ

ハ行カナイノデハナカラウカト思ヒマス、

要スルニ千圓ニ達シナイ場合ニハ課稅シナ

イト云フノハ、普通ノ場合、一回ノ贈與ニ

付テノ規定ト解シテ然ルベキデハナカラウ
カ、斯ウ存ズル次第デゴザイマス、ソレカ
ラ相續稅ガ課カラヌト云フコトヲ前提ニシ
テ、保険契約ヲ結ンデ居ル、然ルニ今遽ニ相
續稅ノ課稅ヲ受ケルヤウニナルノハ甚ダ困
ル、斯ウ云フ御話デゴザイマスケレドモ、
是ハ從來保険金ハ相續財產ノ價額ニ算入シ
ナイコトニナツテ居ル其前提ノ下ニ、保險會
社ガ加入者ヲ勸誘シテ居タノデゴザイマシ
テ、此度此法律ガ成立致シマシタ結果、保
險金ヲ相續財產ノ中ニ算入セラレルコトト
ナリマシテモ、必シモ不當トハ申サレナ
イ、國債ノ課稅等ニ於キマシテモ、既ニ昨
年ニ於テサウ云フ事例ガアツタノデハナカ
ラウカ、問題ハ斯ノ如キモノヲ相續財產ノ
中ニ加算スルノガ宜イカ悪イカト云フ點ニ
アルダラウト存ズル次第デアリマス、尙ホ
相續稅ヲ拂フ「ファンド」ニスル爲ニ保險ニ
加入シテ居ルト云フ場合ハ勿論アルダラウ
ト思ヒマス、併ナガラ必シモ保険ニ加入ス
ルバカリデナク、銀行ニ預金シテ居リマシ
テモ、或ハ有價證券ニ投資シテ居リマシテ
モ、其關係ハ同ジダラウト思ヒマス、獨リ
保險ニ加入シテ居ルガ爲ニ困ルト云フ事由
ト思ヒマス、是ハ獨リ保險金ニ付テノミ言
論議セラレタノデアリマシテ、將來一般的
ノ稅制整理ノ際ニ、篤ト考究スベキ問題ダ
ト思ヒマス、是ハ獨リ保險金ニ付テノミ言
ハルベキデナク、相續稅法全般ニ付テ言フ
ベキコトカト思フノデアリマス、大體保險
ハナイデハナカラウカト思ヒマス、ソレカ
ラ所得稅ニ於テ、退職ニ依ル給與金ハ五千

圓ヲ超ユル場合ニ、五千圓ヲ切捨テ、其超
過額ニ付テ課稅ヲスルガ、保險金ノ場合ニ
ハ、五千圓ニ達シナイ場合ニハ相續財產ニ
加算シナイガ、五千圓以上ノ場合ニハ全額
ヲ加算スルノハ、兩者ノ間ニ於テ均衡ガ取
レナイデハナイカト云フ御話デアリマスガ、
は、五千圓ニ達シナイ場合ニハ相續財產ニ
加算シナイガ、五千圓以上ノ場合ニハ全額
ヲ加算スルノハ、兩者ノ間ニ於テ均衡ガ取
レナイデハナイカト云フ御話デアリマスガ、
は、五千圓ニ達シナイ場合ニハ相續財產ニ
加算シナイガ、五千圓以上ノ場合ニハ全額
ヲ加算スルノモ、一千圓モ二千圓モ、他ノ財產ト通
じマス、併シ此場合從來相續財產ノ中ニ算
入セラレテ居ナカッタ保険金ヲ、新ニ相續財
產ノ中ニ算入スルト云フコトニ致シマシタ
結果、過渡期ト致シマシテハ、前ニ申上ゲ
タ五千圓ニ達シナイ場合ニ於キマシテモ、
他ノ相續財產ト合シテ五千圓以上ニナル場
合ニハ課稅スルト云フ風ニ致シマスト云フ
コトハ、聊カ無理ガゴザイマスノデ、ソレ
デ他ノ財產ト切離シマシテ、保險金ダケデ
五千圓以上ニ達スル場合ニ相續財產ニ算入
シ課稅ヲショウ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマ
ス

○勝委員

重ネテ申上ゲテ置キマスガ、只
今政府委員ノ御答辯デハ、或ル程度ノ保險
契約ニ依ル保險金ト云フモノハ、相續稅ヲ
納メル資金トナルモノダト云フ私ノ説明ニ
對シテ、相續稅ノ「ファンド」ヲ作ルニハ何
モ保險金ニ課ケナイデモ、銀行ノ定期預金
デモ何デモヤツテ置ケバ宜イデハナイカト
云フ御話デアリマスケレドモ、社會ノ實情
ハサウ云フモノデハナイ、殊ニ地方ノ富豪

ナドハ其財産ノ大部分ヲ土地トカ、山林トカト云フモノニ投ジテ、現金ハ殆ドナイ、ソコデ相續ガ一度起レバ、財產ヲ處分シナケレバ相續稅ヲ納メルコトガ出來ナイ、而シテ

サウ云フ急場ノ際ニ、財產ノ處分ヲスルノニ、一万圓デ賣レルモノガ五千圓ニシカ賣

レナイト云フヤウナ實情ガアル、ソレハ地方ノ富豪ト云フヤウナモノニ付テ申セバ、

比々皆然リト申シテ宜シイ、ソレデアルカラ、

政府トシテハ寧ロ相續稅ノ納入資金トシテ、若干ノ保険契約ヲ御勸メニナッテモ宜シイ位

ニ私ハ考ヘテ居ル、然ルニソソナ必要ガアルナラバ、定期預金ニデモシテ置ケバ宜カラ

ウト云フ主稅局長ノ御説明ヘ、若干社會ノ實情ニ遠ザカッテ居ルヤウニ私ハ思フ、尙又私

重ネテ申上ゲルノデアリマスガ、今度ノ此

立法ハ、保険ト云フ制度ニ依ツテ、相續稅ヲ

逋脱セント欲スルモノヲ防ゲバ其目的ガ足

リルノデアリマス、何モ少額ナル保険金ヲ

追駆ケ廻シテ漁ル必要ハナイ、ソレデアリ

マスカラ、或ル程度以上ノ保険契約ヲ抑ヘ

レバ、此目的ハ達スル、又一面第二十三條

ノ適用ガ千圓未滿ニハナイト云フ點カラ併

セテ考ヘマスレバ、五千圓ニナレバ直チニ

全額ヲ捉ヘテ課稅ヲスルト云フコトハ、寧ロ五千圓ヲ越ユル金額ノミヲ相續財產ノ中

ニ加算スルト云フ程度ガ相當デアルヤウニ思ヒマス、尙ホ其點ハ政府ニ於カレテモ重ネテ篤ト御研究下サランコトヲ希望シテ置キマス

一次ニ登錄稅ノコトニ付テ一點御尋致シマ

シテ私ノ質問ヲ終リマスガ、今日不動產ノ

登錄稅ト云フモノハ非常ニ重イ、例ヘバ土

地ノ賣買ヲ致シマス時ニ、其價格ノ千分ノ

三十三ノ登錄稅ヲ取ラレマス、其外ニ地方

稅トシテ不動產取得稅ト云フモノガアル、附加

是ハ地方ニ依ツテ多少差ガアリマスガ、附加

稅ノ率ハ百分ノ三・二、結局合計スルト百分

ノ六・五ヲ不動產移轉ニ伴フ稅ヲ取ラレテ

居ルコトニナッテ居ル、是ハ如何ニモ苛酷ナ

課稅デアル、殊ニ金ニ困ツテ自分ノ土地家屋

ヲ處分シヨウタスルヤウナ場合ニ、百分ノ

六・五ト云フヤウナドエライ登錄稅ヲ取ラ

レテハ、財產ヲ處分スル者ニ取ツテハ非常ナ

妨ゲルノハ此登錄稅デアリ、此不動產取得

稅デアルト云フコトハ多年ノ問題デアリマ

ス、是ハ世界各國ノ立法ニ比較シテ見テモ、

ソレデ其聲ニ幾ラカ聽從スル所ガアッテ、馬

足ラナカッタ爲ニ、勝サンカラ御叱リヲ受ケタ

次ニ登錄稅ノコトニ付テ一點御尋致シマ

シテ私ノ質問ヲ終リマスガ、今日不動產ノ

登錄稅ト云フモノハ非常ニ重イ、例ヘバ土

地ノ賣買ヲ致シマス時ニ、其價格ノ千分ノ

三十三ノ登錄稅ヲ取ラレマス、其外ニ地方

稅トシテ不動產取得稅ト云フモノガアル、附加

是ハ地方ニ依ツテ多少差ガアリマスガ、附加

稅ノ率ハ百分ノ三・二、結局合計スルト百分

ノ六・五ヲ不動產移轉ニ伴フ稅ヲ取ラレテ

居ルコトニナッテ居ル、是ハ如何ニモ苛酷ナ

課稅デアル、殊ニ金ニ困ツテ自分ノ土地家屋

ヲ處分シヨウタスルヤウナ場合ニ、百分ノ

六・五ト云フヤウナドエライ登錄稅ヲ取ラ

レテハ、財產ヲ處分スル者ニ取ツテハ非常ナ

妨ゲルノハ此登錄稅デアリ、此不動產取得

稅デアルト云フコトハ多年ノ問題デアリマ

ス、是ハ世界各國ノ立法ニ比較シテ見テモ、

ソレデ其聲ニ幾ラカ聽從スル所ガアッテ、馬

足ラナカッタ爲ニ、勝サンカラ御叱リヲ受ケタ

ウトシテ居ラレタヤウデアリマス、吾々ハト致シマスルト、保険金トシテ相續人ニ残サウガ、銀行預金トシテ残サウガ、有價證券トシテ殘サウガ同ジデハナカラウカト云フ趣旨デ申上ゲタノデゴザイマシテ、保險

金トシテ相續人ニ残スノガ不都合ダト云フ

ラヌヤウニ思フ、試ミニ之ヲ他ノモノト比

較シテ見レバ、不動產移轉ノ際ニ稅金ノ課

ルノハ、此登錄稅及ビ不動產取得稅、是ト

睨合セルノハ、有價證券ノ移轉ノ際ニ課ル

稅デアリマス、此有價證券移轉ノ稅ハ幾ラ

カト云フト、最高萬分ノ八デアル、百分ノ

三ト萬分ノ八デ、可ナリ大キナ開キガアル、

利加各國ノ動產、不動產ノ間ノ所有權移轉

ソコデ先達政府ニ御願ヲシテ歐羅巴、亞米

利加各國ノ動產、不動產ノ間ノ所有權移轉

トスノ如キ甚ダシキ國ハ一國モナイ、ソレデ

タモノヲ手許ニ持ツテ居リマスガ、之ヲ見ル

トスノ如キ甚ダシキ國ハ一國モナイ、ソレデ

スレバ、此不動產移轉稅タル所ノ登錄稅ハ、

百分ノ三ヲ百分ノ一ニ下ゲテモ尙ホ足ラヌ

スレバ、此不動產移轉稅ノ萬分ノ八ヲ是ナリト

スレバ、此不動產移轉稅タル所ノ登錄稅ハ、

ノデモ、又他ノ相續財產トシテ被相續人力

テ相續人ガ承繼スルモノデモ——先程保險

金ハ取得ト申シマシタガ、之ヲ取得スルモ

ノデモ、又他ノ相續財產トシテ被相續人カ

ラ承繼スルモノデモ、此間ニ變リナリノ

デハナカラウカ、唯理論上カラ申シマシテ

モ、保険金ヲ全ク他ノ相續財產ト同視スル

ノモ適當デナク、又從來相續稅ノ課稅範圍

外ニ置カレテ居タト云フ點モ考慮致シマ

シテ、幾分普通ノ相續財產トハ扱ラ異ニシ

ヨウ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス、不動產デ

モ、有價證券デモ、兎ニ角家督相續ニ於キマン

テ、五千圓以上ノ價格ガアリマスト、全額課稅

ハ臨時デアルカラ、將來濁酒ト共ニ考慮スルト云フ御話デアリマスガ、其點ヲ善意ニ解釋致シマスルナラバ、一應諒承出來マスルガ、少クトモ農林省ガ之ニ對シテ餘リ熱意ガナカッタ、少クトモ斯ウ云ラモノガ出タ時ニ、是ハイケナインダト云フコトヲ農林省ガ相當主張ヲサレナカッタト云フ點ニ付テハ、私ハ不滿ニ思フノデアリマス、尙ホ一點、此問題ハ地方ニ於キマスル農產物ノ加工方針ト矛盾スルト云フ點ダケニ付テハ、私ハサウダト思フノデアリマスガ、此點ノ御答辯ヲ願ヒタイ

○高橋政府委員 御説ノ通リ農林省ト致シマシテハ、農產物ノ加工獎勵ハシテ居リマス、是ハ又獎勵シナケレバナラヌモノダト考ヘテ居リマスガ、此獎勵ト今回ノ課稅ガ必シモ相反スルトハ考ヘナイノデアリマシ此獎勵方法ハ他ニ方途モアルノデアリマシテ、免稅スルコトモ一つノ獎勵方法デハアリマスルケレドモ、必シモ免稅スルノミガ獎勵方法デハナイノデアリマス、固ヨリ農林省ト致シマシテ、農產物ノ加工ヲ獎勵スルコトハ從來ト同様、將來ニ於テモ十分獎勵シタイト思ツテ居リマス、必シモ是ハ相反スルモノデハナイト思ツテ居リマス

○平野委員 此點ハ議論ヲ致シマスト相當

アルノデアリマスガ、ソレハ農林省ト私トノ議論ニナリマスカラ差控ニマス

○高橋委員長 平野君、アナタガ次ニ御質問ニナルノハ大藏當局ダト思ヒマスガ、地方局長ガ決算委員會ノ方デ非常ニ呼ビニ來テ急イデ居ラレルヤウデスカラ、後程又御出デニハナリマスガ、便宜上地方局長ニ對スル質問カラ先ニ願ヘレバ結構ダト思ヒマス

スル質問カラ先ニ願ヘレバ結構ダト思ヒマス

○坂政府委員 地方財政補給金ヲ十三年度ニ於テドウ云フ標準デ配分致シマスカハ、何レ又委員會ニモ御諮リ致シマシテ決メルコトデアリマシテ、今日ハツキリ決ツテ居マセヌガ、併ナガラ昭和十二年度ニ吾々

ガ考ヘマシテ委員會デ御決定ニナリマシタ事デアリ、來年モ亦大體サウ云フ事デ行ク外ハナカラウカト今日考ヘテ居ル所ニ依リマスト、ヤハリ町村ノ資力ト云フモノヲ見マシテ、資力ノ多イ所ニハ少クテモ我慢シテ貰ハナケレバナラヌ、資力ノ少イ所ニ澤山ヤルト云フコトハ已ムヲ得ナイ一ツノ標準デアルト思ヒマス、ソレナラバ資力ヲ何

税ニモ色々々ノ内容ガアルノデアリマシテ、此交付金配分ノ標準ニ採り得ナイモノモ、採り得ルモノモアルデアリマセウ、先づ大

體標準トシテ適當ト思フモノヲ採リマシテ配分スルノデアリマス、要スルニ租稅ヲ澤山取ル所ハ、大體ニ於テヤハリ資力ガアルトスウ見ルベキデアリマセウ、尤モ是ハ直接稅ニ付テ言フコトデアリマシテ、消費稅のノ、前途ヲ豫想シタト云ツタヤウナ稅デアリマスト、稍考ヘ方ガ違フ譯デアリマス、併シ租稅ガ澤山アルト云フコトハ、資力マシテモ、ソレヲ資力ガ少イト云フ標準ニスルコトハ困難デハナカラウカト思フノデアリマス、大體ノ考ヘ方ハサウ云フヤウニ考ヘル譯デアリマスガ、只今御示シニナリマシタ今回新ニ設ケラレタ租稅ニ付キマシテハ、直チニ補給金ノ配分等ニハ關係ノナイコトデアリマセウガ、特別ニ其村ニ餘計ニヤル標準ニ使フト云フヤウナ考ヘ方ハ非常ニ困難デハナイカ、先程申シマシタヤウナ考ヘ方トハ逆ニナルヤウニ思ヒマスノデ、相當是ハ困難ニナルノデハナカラウカト思フノデアリマス

○平野委員 只今御答辯ハ淘ニ不満デス、

アルノデアリマスガ、ソレハ農林省ト私トニ依ツテ、特別ノ或ル村ハ困ルト云フコトニ付テ、地方財政調整交付金等ヲ考慮サレテ、是等ノ特別ノ町村ニハ相當補給金ヲ交付サル、ヤウナコトガ出來マスカ、出來マセヌカ、又御考ヲ願フコトガ出來ルカ、出來ナカ、之ヲ承リタイ

○平野委員 承知致シマシタ、ソレデハ委員長ノ御注意ニ依リマシテ地方局長ニ伺ヒマスガ、今回此稅ガ實行サレマスト、具體的ニ申シマスルト、山梨縣ノ或ル町村ニ於キマシテハ非常ナル稅金ヲ背負ハセラレルマスガ、併ナガラ昭和十二年度ニ吾々

ガ考ヘマシテ委員會デ御決定ニナリマシタ事デアリ、來年モ亦大體サウ云フ事デ行ク外ハナカラウカト今日考ヘテ居ル所ニ依リマスト、ヤハリ町村ノ資力ト云フモノヲ見マシテ、資力ノ多イ所ニハ少クテモ我慢シテ貰ハナケレバナラヌ、資力ノ少イ所ニ澤山ヤルト云フコトハ已ムヲ得ナイ一ツノ標準デアルト思ヒマス、ソレナラバ資力ヲ何

標準トシテ見ルニハ、或ハ已ムヲ得ナイコトデハナカラウカト思フノデアリマス、租給委員會ニ於テ、色々御研究デアルノデ

明ガ足ラナンダ點モアル カモ知レマセヌ

ガ、今申シタ祝村ト云フヤウナ所ニ於テハ、

全戸數ガ五百戸デアルニモ拘ラズ葡萄酒ヲ

造ツテ居ル家ガ三百八十五戸、チヨット村ニ

入ツテ見レバ何處ノ家デモ造ツテ居ル、ソレ

ニ一石十五圓ヅ、課カッテ來レバ、税金ガ

變ツタト同ジ結果ニナルト云フコトハ、一寸

御考ニナレバ地方局長ハ御分リデアラウト

思フ、若シ村稅ガ八千圓デアルノニ、葡萄

酒稅ガ一万五千圓課カルナラバ、如何ニ其

村ガ困ルカト云フコトハ私ガ申上ゲル迄モ

ナイ、臨時財政補給金委員會ニ於テ色々御

研究ニナツテ居ル所ヲ見ルト何カ特別ナ事

情ニ依ツテ——或ル工場ガ何處カヘ移轉シ

タトカ、聯隊ナラ聯隊ガ餘所ヘ移ツタトカ云

フ爲ニ、其村ガ財政的ニ非常ニ困ツタト云ツタ
ヤウナ特殊ノ事情ヲ考ヘテ、補給金ヲ考慮シテヤル、而シテ今回ノ稅金ハ戰時ノ稅金

デアルカラ已ムヲ得マイト云ツテ課セラレ

ルコトニナリマシタナラバ、大藏省ニ對シ

テ吾々ガ隨分交渉シテモ妥協サレナイ場合

ガアツタ時ニハ、地方局長ガ斯ウ云フ村ニ

對シテハ所謂特殊ノ事情アル村トシテ、臨時財政補給金委員會ニ於テ考慮スルト云フ

御答辯ガアツタラ宜カラウト思フノデアリ

マスガ、モウ一回再考願ツテ 御答辯ヲ願ヒ

タイ

○坂政府委員 大藏省ガ稅制ノ改正ヲサレ

マシテ、色々ノ方面カラ新シイ稅ヲ取ラレ

マスガ、取ルノニハ相當ノ理由ガアル、擔

稅力ガアルモノト認定セラレテ御考ニナツ

テノコトグラウト思ヒマス、隨ヒマシテ其

擔稅力ガアルト云フ大キ立前カラサウ言

ヒ得ルデアラウモノガ、逆ニ交付金ヲ餘計

ニスル標準ニナルト云フコトハ、ハツキリ申

上ゲルコトハ困難ダト存ジマス

○平野委員 ソレハ一つノ抽象的ナ議論デ

アリマシテ、抑、地方財政調整交付金ト云フ

モノニ付テモ、町村ヘサウ云フ金ヲヤルガ

宜イカドウカト云フコトハ、純理カラ云ヘ

バ議論ガアツタコトデアル、何ガ基準トナツ

テ財政交付金ヲ出スヤウニナツタカト云フ

ト、内務省ニ於テ町村自體ガ困ルカラ出サ

此稅金ヲ取ラレルト困ルト云フ事實ヲ認定

ウト云フコトニナツタ、サウスレバ今言ツタ

サレタラ、考慮スルト云フ位ノコトヲ仰ツ

シヤツテモ宜カラウト思フ、ソレヲ理論一點

ハ他ノ委員諸君ヘノ御答辯ニ依ツテ分ツテ居

ル筈デアリマスガ、私ガ一番大藏當局ニ御

考ニナツテ戴キタイコトハ、一年ノ中デ一斗

トカ、或ハ五升トカ云フヤウナ少額ナモノ

ヲ萬遍ナク作ツテ居ル所ヲ、一々御調ニナツ

テ、一圓デアルトカ、五十錢デアルトカ云

レタカラト云ツテ、ソレヲ言質トシテ吾々ハ

責立テル譯デハナインデアルカラ、考慮ス

ルト云フ位ノ御答辯ハアツテ 宜カラウト思
フ、モウ一回御願致シマス

○坂政府委員 御示シニナリマシタ事實ハ、

所謂困ル事實ト見ルカ、困ラナイ事實ト見

ルカ、考ヘ方ガ色々アルノデハナイカト思

ヒマス、困ル事實ト見ルコトガ正シイコト

デアレバ、御説ノヤウナ考ヘ方ニナルカ知

レマセヌガ、私ノ考ヘル所デハ、補給金ノ

取扱上困ル事實ト見ルト云フコトハドウデ

アラウカト云フ、ソレダケノ考ヲ申上ゲタ

ノデアリマス

○平野委員 ソレハ困ル事實デアルト云フ

コトハ立派ニ證明出來ルノデアリマシテ、

只今ノ御答辯ニ依ツテ私ハ相當考慮サルベ

キモノト推定致シマシテ、私ノ地方局長ニ

対スル質問ヲ打切りマス

○平野委員 最後ニ主稅局長ニ御伺致シマスガ、大體

思ヒマス、アナタ方ノ御考ニナツテ居ル所

ハ、申告スレバ宜イノダト仰シシヤイマス

ガ、現在少シバカリ作ツテ居ルモノガ、果シ

テソレガ一斗デアルカ、二斗デアルカト云

フヤウナコトヲ、サウ完全ニ申告スル者モ

ナカラウト思フ、現ニ私共知ツテ居ル限り、

葡萄酒ニ付テ面倒ナ問題ガ屢々起ツテ居ルノ

デアリマスガ、少クトモ各農家ヲ御廻リニ

ナツテ、オ前ノ家テハドレダケ造ツテ居ルノ

カト云フ御調ガナケレバ、申告ダケデハ不

十分デアルト存ズルノデアリマスガ、サウ

府ノ收入ガナイト云フ點ニ付テ、ドウ云フ

風ニ御考ニナルカ、之ニ對スル御答辯ヲ願

ヒタイ

○大矢政府委員 葡萄酒ハ從來課稅ノ範圍

外ニナツテ居リマスガ、併ナガラ其ノ製造ニ

付テハ免許ヲ受ケナケレバナラヌコトニナツ

テ居リマス、稅務署ニ於テ相當取締ヲ致シ

テ居リマシテ、毎年ノ造石高モ一々申告ヲ

取ツテ居ルノデアリマス、此度課稅スルコト

ニナリマシテモ別ニ變ツタコトハゴザイマセ

ヌ、申告ヲ基礎ニ致シマシテ課稅スルコト

ハ出來マスノデ、別ニ複雜ナ手數ハ掛ラヌ

ノデアリマス

○平野委員 其點モ認識不足デヤナイカト

思ヒマス、アナタ方ノ御考ニナツテ居ル所

ハ、申告スレバ宜イノダト仰シシヤイマス

ガ、現在少シバカリ作ツテ居ルモノガ、果シ

テソレガ一斗デアルカ、二斗デアルカト云

フヤウナコトヲ、サウ完全ニ申告スル者モ

ナカラウト思フ、現ニ私共知ツテ居ル限り、

葡萄酒ニ付テ面倒ナ問題ガ屢々起ツテ居ルノ

デアリマスガ、少クトモ各農家ヲ御廻リニ

ナツテ、オ前ノ家テハドレダケ造ツテ居ルノ

カト云フ御調ガナケレバ、申告ダケデハ不

十分デアルト存ズルノデアリマスガ、サウ

云フ簡單ナコトデ宜イノデスカ、其點ニ付

テ御伺シタイ

○大矢政府委員 勿論申告ダケニ依ル譯ニ
ハ參ラヌト思フノデアリマス、從來モ相當
ニ取締ハ致シテ居ルノデアリマス、ソレカ
テ課稅スルコトニナリマシタナラバ、尙ホ
多少從來ヨリモ取締ノ方法ヲ變ヘテ參ラナ
ケレバナラヌ點モアラウカト存ジマス、是
等ニ付キマシテハ一々各農家ニ付テ細カク
調べテ行クト云フコトモ如何カト存ゼラレ
マスノデ、成ベク組合等ヲ利用致シマシテ、
十分組合ノ自治的活動ニ依ツテ、官民相互ノ
手數ヲ省イテ課稅ノ適正ヲ期シテ行キタイ
ト存ジテ居ル次第ゴザイマス

○平野委員 モウ一點、是ハヤハリ問題ニ
ナッテ居ルノデアリマスガ、現在造ツテ居リ
マス葡萄酒ノ材料ハ、優良ナモノハ都會へ
送ツテシマッテ、殘ッタ食フコトモ出來ナイヤ
ウナ、所謂廢物的ノモノヲ利用シテ造ツテ居
ルガ、稅金ノ課ルノガ面倒臭イカラ造ラヌ
ト云フノガ相當アルヤウニ聞キマス、斯ウ
ラレル爲ニ、斯ウ云フモノガ無駄ニ捨テラ
レテ行クト云フコトハ、ヤハリ一種ノ問題
デハナイカト存ズル、是ハ考ヘ方ニ依レバ、
ソンナモノハ捨テ、モ構ハヌデヤナイカト

ノヲ利用シテ、其地方ニ於ケル生産力ヲ増
スト云フコトガドウシテモ必要ダ、其點カ
リモ損ヲスルコトノ方ガ多イ、大體國全體
ノ大局カラ見テサウ云フ勘定ニナルト思フ
ノデスガ、ソレニ對シテモ御答辯願ヒタイ
○大矢政府委員 是ハ前ニモ申上ゲマシタ
通り、山梨縣下ニ於キマシテ、五斗未滿ノ
製造ヲ致シテ居リマスル人員ハ、昭和十年
度ニ於キマシテ二百人足ラズデゴザイマス、
其他ハ三石、五石、或ハソレ以上ト云フ風
ニナツテ居リマシテ、勿論各製造家ハ其製造
シマシタモノノ一部分ヲ自家用ニ供シテ居
リマセウケレドモ、悉ク自家用ダケノモノ
ヲ造ッテ居ルト云フノモ亦割合ニ少イノデ
ハナカラウカト存ジマス、濁酒ニ付テノ御
話モゴザイマスガ、濁酒ハ酒精度ガ大體十
四度位デ、一石三十六圓ノ課稅ヲ受ケテ居
ルノデゴザイマス、清涼飲料ノヤウナ酒精
分ノ少シモナイモノデモ、一石十圓ノ課稅
ヲ受ケテ居ル、「ラムネ」ノ如キ一般大衆ノ
需要ニ供スルモノデアルト思ハレルモノデ
サヘ、一石七圓ノ課稅ヲ受ケテ居ルノデゴ
ザイマス、是等ノ權衡ヲ見マスト、大體酒
精度十二度内外ヲ有シテ居ル葡萄酒ニ對シ

三十圓位ノ課稅ヲスルノガ或ハ理論上至當カ、消費稅ノ本質カラ考へテ見ルト理論上其邊ガ適當デナイカト存ゼラレル節モアルノデゴザイマスケレドモ、色々御述ニナッタシテ此タビハ一石十五圓ト致シマシタ、サウシテ純粹ノ自家用ニ致シテ居リマスノガ假ニ一斗ト致シマスト、一年ニ一圓五十錢ノ稅デゴザイマス、夏季勞働者ガ「ラムネ」ヲ飲ンデモ、一石七圓ノ課稅ヲ受ケテ居ルノニ比較致シマスト、此戰時事變下ノ增稅ト致シマシテ、此程度ノ負擔ヘ自家用ニ供スル人ニ於テモ、御辛抱下サルコトガ出來ルノデハナカラウカ、斯ウ考へテ居ル次第アリマス。

ト云フヤウナ御答辯ハ私ハ不満足デアリ
マス、實ハ實際ニ於テ山梨縣ナドニ於キ
マシテ相當困ルデアラウト云フ御答辯ガア
ルノガ然ルベキデハナイカ、新聞ヲ見テ居
リマスト、山梨縣ノ新聞ニ於キマシテハ、
此間此席デ堀内、山川兩委員ガ大藏省ニ聞
イタ所ガ、山梨縣デハ困ラヌデヤナイカト
答辯サレタト云フ記事ガ大キク載ツテ居ル、
其記事ヲ見テ又葡萄栽培業者ガ寄リマシテ
騒イデ居ル狀態デアリマス、之ヲ課セラレ
レバ困ルダラウケレドモ、斯ウ云フヤウナ
方法モ考ヘ、斯ウ云フコトモ考ヘラレルカ
ラ、今日ハ我慢シテ貴ヒタイト云フヤウナ
ドモ、今ノヤウニ逆襲的ニ自家用ヲヤツテ居
ル者ハ少イトカ、或ハ他ノ比率カラ斯ウシ
タト云フヤウナコトニ付テハ、私ハ大藏當
局ノ御考ハ認識不足ダト云フ點ヲ申上ゲテ、
私ハ更ニ再考ヲ煩ハシタイト思フノデアリ
マス、是ハ御答辯ガナケレバ私ノ註文デ宜
シウゴザイマスガ、ドウカ此點ハ問題小ナ
リト雖モ、其一地方ニ於テハ相當深刻ナ問
題デアリマスカラ、以上ノヤウナ御答辯デ
ハ必ズ農民ガ満足スルモノデハアリマセヌ
ノデ、願クハ大臣及ビ其他ノ各位トモ御相

談ノ上、特ニ此問題ニ付テハ善處サレントヲ切望致シマシテ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○大矢政府委員 生産者トシテノ、又農村問題トシテノ生葡萄酒ニ對スル課稅ニ付キ

マシテハ、農林當局及ビ内務當局カラ御答ガアリマシタノデ、私ハ大藏省ト致シマシ

テ、消費稅ノ課稅ノ立前カラ申上ゲタ次第デゴザイマスカラ、左様御諒承願ヒマス

○高橋委員長 大藏省ノ政府委員ニ御参考ニ申述ベテ置キマス、委員長ハ堀内君、山

川君ノ質問ノ場合ニ補足的ニ意見ヲ申述べテ参考ニ供シタノデスガ、只今ノ平野君ト

ノ質問應答ノ間ニ、「ラムネ」或ハ其他ノ清涼飲料ト比較ニナツタヤウデアリマス、是等

ニ課稅ヲスル時分ニハ、寧ロ消費ヲ制限シテモ差支ナイ、是ハ必シモ衛生的飲料ト云

宜イト云フ意味デ課稅シタモノト思フ、所

ガ農家デ造ルヤウナ生葡萄酒ハ自家用モア

ルシ、又衛生的飲料デアルト云フヤウナコトニモ考ヘナケレバナラスト共ニ、葡萄酒ノ

自家用ニ供セラレル程度ノ葡萄ハ、先程平野君ノ言ハレタ如ク、生果トシテ之ヲ用ヒ

ラレナ、又專門ノ釀造家ハ別問題ト致シ

マシテ、之ヲ「ジユース」ト云フヤウナモノニヤル譯ニモ行カナイ、果汁ノ製造ト云フ

モノハ葡萄酒ノ製造ヨリモ機械的ニ非常ナル設備ガ要ルノデアッテ、葡萄酒ヲ釀造スル

ヨリハ更ニ困難ガアルト云フヤウナ事情モ能ク考慮ニ入レラレテ、善處サレルヤウニ希望ヲ申述べテ置キマス

○大矢政府委員 一寸今委員長ノ申サレマシタコトニ付テ、一言申述べテ置キタイト

思ヒマス、清涼飲料ニ對スル課稅ハ、大正十五年ノ一般的稅制整理ノ際ニ於キマシテ、

酒造稅、麥酒稅ノ增徵ヲ致シマシタ、ソレハ麥酒稅ノ增徵ヲ致シマシテ、同ジク夏季

ノ飲用ニ供セラレル清涼飲料ヲ其儘ニシテ置クノハドウデアラウカト云フノデ、麥酒稅

トノ權衡ヲ圖ル意味ニ於テ課稅セラレルコトニナツタヤウニ私ハ記憶シテ居ルノデゴ

ザイマス、此度モ他ノ清酒、麥酒等モ相當

増稅ニナリマスノデ、此生葡萄酒ニ對スル課稅モ、從來カラ考ヘラレテ居タ點、此度

ノ清酒、麥酒等ニ對スル增徵ト云フ方面ト

課稅ヲ取ルコトヲ考ヘテ立案シタ次第デゴザイマス

○山川委員 私ハ法制局長官ニ御尋致シタ

イノデアリマス、洵ニヒヨンナコトヲ御尋

スルヤウデアリマスルガ、實ハ田畠其他附

加稅ノ納稅義務ニ付キマシテ御伺申上ゲタイ、無論納稅ノ義務ト云フモノハ免ジテ貰

トデアラウト思ヒマス、ソコニ斯ウ云フモノハ權利義務ノコトヲ制定スルノガ法

度提案サレマシタ所ノ農地調整法ノ第九條ノ中ニ「賃貸人ハ賃借人ニ信義ニ反シタル

行爲ナキ限リ賃貸借ノ解約ヲ爲シ又ハ更新ヲ拒ムコトヲ得ズ」ト書イテアル、ソレデ

此法律ヲ見マスト、已ムヲ得ザルモノハ許シテヤラウ、斯ウ云フ意味ニナツテ居ルノ

デアリマス、段々法律モ進化シテ來マシテ、時代的デゴザイマセウ、法律ニ道徳的ノ文

字ヲマア臨時ニデモ書イテ居ル、道徳上ノコトモ書イテアル、宗教上ノコトモ書イテ

アル、斯ウ云フ風ニ信義ト云フ文字ヲ使ッテ

居ルノデアリマスガ、之ヲ法律ニ書クヤウニナツタ、サウシテソレニ反シタ行爲デナ

ケレバ是ハ仕方ガナイト、人情的ニ認メラ

マス諸法律ヲ改メテ貰ヒタイト云フコトガ

出來ルデアラウト私ハ存ジマス、ソコデ此法ニ書イテゴザイマスノハ、賃貸人ハ賃借

人ニ對シ信義ニ反シタル行爲ナキ限リ土地ヲ取上ゲルコトガ出來ナイト云フコトガ書

イテアルノデアリマス、是ハ法文ニ載ッテ居リマスケレドモ、過日來ノ大臣トノ應答ノ

中ニハ、小作人ガ小作料ヲ納メナンダ場

合ニハ、此解約ヲ爲ス、更新スルト云フコトガ立前デアリマス、ケレドモ信義ニ反セ

ザル程度ニ於テ小作米ヲ持ッテ來ナンダ者

ハヤハリ更新ヲ拒ムコトモ出來ナケレバ

解約スルコトモ出來ナイ、斯ウ云フコトニ

ナルノデアリマスルカラ、成文ニ小作米ノコトヲ書イテゴザイマセヌケレドモ、ソレハ皆此中へ入ッテ來ルコトニナル、之ニ私ハ反對デハナイ、反對ハ致シマセヌガ、斯ウ云フ工合ノ好イ温情主義ノ法律ガ出來マシタ以上ハ、ドウゾ斯ウ云フコトニナッテ來タ以上ハ、地主ニモ信義ニ反セザル限リ納稅ノ義務ヲ勘忍シテヤルト云フヤウナコトニモ御考ヲ願ヒタイ、此法律ニ依ッテ助カッテ小作米ヲ持ツテ來ナシダ田地ニハ、納稅ノ義務ハ信義ニ反セザル限リ許シテヤルト云フコトヲ規定致サレルノガ當リ前ダト云フヤウニ思ヒマスガ、ソレニ對スル法制局長官ノ御答ヲ願ヒタイ

○船田政府委員 只今ノ山川君ノ御質問ハ總體論致シマシテハ、法律ト道德トノ合一ト云フコトノ問題ニナルト思フノデアリマシテ、ドノ程度ニ法律ト道德トノ調整ヲ圖ツテ行クカト云フ問題ガ、偶農地調整法案ノ中ニ現ハレテ居ルコトト存ジマス、隨テ信義ニ反スルヤウナ行爲ガナケレバ、小作ノ條件等ニ付テ、只今御話ノヤウナ割合寛大ナ處置ヲ講ズルト云フコトハ——地主小作ノ關係ガ御承知ノ通リノ道徳關係ニ基礎ヲ置クト云フ所カラ出テ居ル條文ダラウト思ヒマス、併シソレダカラト言ツテ、稅法ニ於

テ直ニ之ヲ取入レテ法文化スルト云フコトハ、從來法制局デヤッテ居リマスル立法技術ノ上カラ考ヘマシテモ、極メテ困難ダト思ヒマス、ソレガ隨テ所謂納稅トカ、輕減トカ云フコトノ條件ニナル其原因ヲ作ルコトニナリマスレバ、別ノ條項ニ依ッテ租稅ノ減免ト云フヤウナ問題ハ或ハ起ツテ來ルカモ知レマセヌケレドモ、直ニ農地調整法ニ取入レマシタ其條項ヲ以テ、租稅ノ減免ノ原因トスルト云フ譯ニハ參ラヌト考ヘマス

○高橋委員長 山川君ニ一寸御注意申上ゲマスガ、山川君ハ頗ル下級農民ニ御同情ノアル御意見デアリマスカラ、阻止スル譯デハアリマセヌケレドモ、此委員會ノ審議ガ

大分進ンデ居リマスノデ、本日六時頃ヲ以テ大體終了致シタイト云フ心持デ委員長ハ進メテ居リマス、中々御意見ヲ御述べニナッテハ盡キナイモノト思ヒマスガ、相當ナ所

シテ、ドノ程度ニ法律ト道德トノ調整ヲ圖ツテ行クカト云フ問題ガ、偶農地調整法案ノ中ニ現ハレテ居ルコトト存ジマス、隨テ信

義ニ反スルヤウナ行爲ガナケレバ、小作ノ條件等ニ付テ、只今御話ノヤウナ割合寛大ナ處置ヲ講ズルト云フコトハ——地主小作

ノ關係ガ御承知ノ通リノ道徳關係ニ基礎ヲ置クト云フ所カラ出テ居ル條文ダラウト思

ヒマス、併シソレダカラト言ツテ、稅法ニ於

テ直ニ之ヲ取入レテ法文化スルト云フコト

ハ、從來法制局デヤッテ居リマスル立法技術ノ上カラ考ヘマシテモ、極メテ困難ダト思ヒマス、ソレガ隨テ所謂納稅トカ、輕減

トカ云フコトノ條件ニナル其原因ヲ作ルコトニナリマスレバ、別ノ條項ニ依ッテ租稅

ノ減免ト云フヤウナ問題ハ或ハ起ツテ來ルカモ知レマセヌケレドモ、直ニ農地調整法

ニ取入レマシタ其條項ヲ以テ、租稅ノ減免ノ原因トスルト云フ譯ニハ參ラヌト考ヘマス

リマス、法制局デハ餘程ソレデ苦シニ居ラッシヤルダラウト思ツテ御察シシテ居

悉クサウ云フ無理ナコトヲ、法制局ヘ八方

デ是ハ農林省バカリデヤナイ、他ノ各省モ

申シマシテ置キマス、一方ガ成立ツテ居リマス

セヌナラ仕方ガアリマセヌガ、一方ガ成立

テ居ル以上ハ……

○高橋委員長 山川君ニ御注意申上ゲマス

○船田政府委員 山川君ノ御同情アル御注

意ニ對シテ、今後十分注意ヲシテ行キタイ

ト思ヒマス

○高橋委員長 山川君ニ御注意申上ゲマス

ガ、他ノ委員會デ審議ヲ盡サレテ、本會議

デ可決サレタ案ニ付テ——當方ニ關係ノナ

イ部分ニ付テ此委員會ニ於テ御論議ニナル

コトハ、今後御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山川委員 イヤサウデハアリマセヌ、次

ニハ納稅ニ關スル法律ヲ拵ヘテ貰ヒタイト

云フコトヲ御願シタノデ、前ノ農地調整法

所ノ憲法トカ民法トカ云フモノニ、此物權

法ト云フモノガ抵觸シテ居ル、物權法ヨリ

テ行カレタノヲ、法制局デソレガ他ノ法律

ハ直接法ガ中心デアリマス……

○高橋委員長 諒承致シマシタ

○松隈政府委員 先程板谷委員カラ御尋ノ

アリマシタ數字ノ點ヲ御答申上ゲマス、昭和十三年度ノ甲種資本利子稅ノ課稅基本トナリマシタ資本利子金額ハ八億三千四百万圓程デゴザイマス、但シ此中ニハ貯蓄銀行ガ持ツテ居ル國債デアッテ、資本利子稅ガ百分ノ二、即チ普通ノ場合ノ半分シカ課カラナイ分ノ國債ノ利子ガ約五千万圓入ツテ居リマス、ソレカラ乙種資本利子稅ノ課稅ノ基本トナリマシタル利子金額ハ約四千九百万圓デゴザイマス

アリマシタ數字ノ點ヲ御答申上ゲマス、昭和十三年度ノ甲種資本利子税ノ課稅基本トナリマシタ資本利子金額ハ八億三千四百万圓程デゴザイマス、但シ此中ニハ貯蓄銀行ガ持ツテ居ル國債デアッテ、資本利子税ガ百分ノ二、即チ普通ノ場合ノ半分シカ課カラナイ分ノ國債ノ利子ガ約五千万圓入ツテ居リマス、ソレカラ乙種資本利子税ノ課稅ノ基本トナリマシタル利子金額ハ約四千九百萬圓デゴザイマス

ス、十三年度ノ税ノ收入ニ付キマシテハ、
斯ウ云フモノノ減額ヲドウ云フ風ニ御覽ニ
ナッテ居リマスカ、何カ御調ガアッタナラバ
御示シラ願ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 今御述ニナリマシタモノニ
ハ、大體是カラ新シク作ラウト云フモノニ
對スル免稅規定デゴザイマス、隨テ十三年
度ノ普通豫算ノ租稅歲入ニハ、別ニ其事ヲ
特ニ考慮シテ計算シテ居ル譯デハゴザイマ

○板谷委員 ドウモ不思議千萬ナ話テス
政府ガ會社ヲオ作リニナッテ、七億八千万圓
ノ資本、ソレヲ特殊會社ニ移スト云フコト
デアリマスルカラ、ソレニ對スル所得稅其
他ノ稅ト云フモノガ非常ニ減額ニナル、ソ
レヲ御調ニナッテ居ラヌト云フノハドウキ
不思議千萬デアリマスガ、ドウ云フノデア
リマスカ

新會社ニ資産トシテ引継イテ株式ヲ貰フ持
株會社ニナルノデアリマスヘ之ニ對シマシ
テ配當ガ全然ナイノデハナクテ、ヤハリ配
當ガ相當アリマス、ソレヲ詳シク言ヘバ成
程自分デ利用シテ居ツタ方ガ今度ノ會社ニ引
繼イデ配當ヲ貰フヨリモ、資產ニ對スル利
廻ガ好イトカ惡イトカ云フ議論ハ起リマス
ケレドモ、大體ト致シマシテハ從來ト同程
度ニ資產カラ利益ガ生レテ、ソレガ配當ト
云フヤウナ形デ元ノ會社ニ入ツテ來マスベ

ス、十三年度ノ稅ノ收入ニ付キマシテハ、 ナツテ居リマスカ、何カ御調ガアッタナラバ 御示シヲ願ヒタイト思ヒマス
○大矢政府委員 今御述ニナリマシタモノ ハ、大體是カラ新シク作ラウト云フモノニ 對スル免稅規定デゴザイマス、隨テ十三年 度ノ普通豫算ノ租稅歲入ニハ、別ニ其事ヲ 特ニ考慮シテ計算シテ居ル譯デハゴザイマ セヌ
○板谷委員 發送電會社ハサウデヤナノイノ デセウ、從來ノ電力會社ノ送電線竝ニ既設 ノ火力ヲ集メテ會社ヲ新ニ御作リニナル、 ソレニ對スル課稅ハ免除スルト云フコトニ ナルカラヘソレハサウデヤナイノデセウ
○大矢政府委員 第一種所得稅トカ、法人 營業收益稅ノ豫算ノ見積ヲスル場合ニ於キ マシテハ、經濟界ノ大勢ヲ見マシテ、前々 年度ノ決定稅額ニ對シテ如何程ノ增加ヲ見 ルカ、或ハ減ヲ見ルカ、斯ウ云フ風ニ致シ テ居リマスノデ、個々ノ會社ニ付キマシテ 詳細調査ラシテ見積ヅテ居ル譯デハゴザイ マセヌ、隨ヒマシテ今御話ノアリマシタ發 送電會社ニ對スル課稅ノ分モ、特ニ詳細調
○松隈政府委員 一寸私カラ申上ゲテ見タ イト思ヒマス、第一種ノ所得稅ノ豫算ヲ見 積リマシタノハ昨年ノ十月デゴザイマシテ、 其時ニ於ケル豫算ノ見積方法ハ、只今主稅局 長カラ述ベラレタ通リデゴザイマス、其後 發送電會社ニ對シマスル免稅條項ニ付キ遞 信省カラ交渉ガアリマシテ、大藏省ト致シ マシテモ種々考慮ノ結果、十年間所得稅、 營業收益稅ヲ免除スルト云フ免稅條項ニ同 意致シタヤウナ次第デゴザイマスガ、其提 合ニ於キマシテモ所得稅、營業收益稅ガ全 會社ニ引繼ギマシテ、其代償トシテ株式ヲ取得 スルノデゴザイマシテ、其株式ニ對シマシテハ 來ノ既存電力會社ガ發送電ノ設備ヲ新シイ 居リマシタガ、今度ハ自分デ利用シナイデ シテ自分デ利益ヲ擧ゲテ課稅ノ對象ニナツテ 配當ガゴザイマス、隨テ從來ハ自分デ利用

新會社ニ資產トシテ引繼イテ株式ヲ貰フ特
株會社ニナルノデアリマス、之ニ對シマシ
テ配當ガ全然ナイノデハナクテ、ヤハリ配
當ガ相當アリマス、ソレヲ詳シク言ヘバ感
繼イデ配當ヲ貰フヨリモ、資產ニ對スル利
廻ガ好イトカ惡イトカ云フ議論ハ起リマス
ケレドモ、大體ト致シマシテハ從來ト同程
度ニ資產カラ利益ガ生レテ、ソレガ配當ト
云フヤウナ形デ元ノ會社ニ入ッテ來マスレ
バ、從來ノ會社ニ對シマシテハ依然所得稅
營業収益稅ガ課カルノデゴザイマスカラ、
ソコニ大シタ減額モナカラウト云フヤウナ
事カラ致シマシテ、殊ニ豫算ハ十月當時ニ
於テ見積ヅテ出シテ居リマス關係モゴザイ
マスノデ、其點ニ付テ故ラ減額ヲ行ッテ更正
ヲスルト云フヤウナ點ハ、元々立前ガ一タ
ノ會社ニ付テ見ルト云フヤウナヤリ方デゴ
ザイマセヌノデ、其點ヲ避ケテ居ルヤウナ
次第デアリマス

マスガ、送電ニ關スル所ノ事業ハ移ル、即チ七億八千万圓ノ金額ガ移ルノデアリマスカラ、ソレニ對スル課稅ト云フモノハ

トハナノイドコロノ話デハナイ、恐ラクハ五

六百万圓ト云フモノハ新會社ガ——其中ニ

ハ從來ノ分モ負擔スルカモ知レマセヌガ、

相當ノ金額ハアルモノト見ナケレバナラヌ、

是ハモウ一遍能ク御調ベニナツテ戴キタイ
○松隈政府委員 重ネテノ御尋デゴザイマスガ、唯資產ヲ提供スルノデハナクテ、發送電會社ニ設備ヲ提供シタ物ガ、チヤント正當ニ評價シテ、ソレニ對シ新會社ノ株式ノ交付ヲ受ケマス、其株式ニ對シテハ新會社ト

云フモノハ配當ヲ辭退シテ居リマセヌ、隨テ從來ノ電力會社ト云フモノハヤハリ依然ガ發生シマスカラ、サウシテ從來ノ電力會社ニ對シテ所得稅、營業收益稅ヲ課稅致シマスレバ、私ガ先程申シタ通り、直接自分ノ會社ノ發送電設備ノ利益トシテ課稅ノ對象ニナルカ、或ハ其部分ガ投資シタ株ノ配當トシテ所得トナルカト云フ差ガアルダケデゴザイマシテ、ソレハ細カク言ヘバソコニ多少自分で利用シタ場合ト配當ヲ貰フ場合トデ差ハ出來ルカモ知レマセヌケレドモ、

大體論トシテハ著シク稅が減ツテシマフト云フコトハ、首肯出來ナイト思フノデゴザイマス

○板谷委員 モウ其點ハ宜ウゴザイマス、

アナタト意見ガ違フ、ソレカラ昨日伺ッタ同族會社ノ加算稅デスガ、會社數ノ中ノ九割ト

云フモノガ免稅ニナツテ、一割ガ課稅サレルト云フ御答辯デアリマシタ、其基準ヲ御示ヲ願ヒタイト申シテ置キマシタガ、其大體ノ標準ハドノ點ニアルカ位ノ御話ハ出來サウダト思フノデアリマスガ、ソレデナイト出先ノ稅務官吏ガ唯自分ノ認定ニ依ッテ之ヲ判断スルト云フコトハ非常ニ危險デモアリ、ソレガ爲ニ國民ガ迷惑ヲ感ズルト云フヤウナ結果ニナリハシナイカト思フノデス

○河野委員 ソレデハ其間ニ簡單ニ大藏省ニ御尋シマスガ、モウ殆ド質問ガ終ツテ居リ

マスノデ、極ク簡単ニ細カイ點ダケ一二御尋致シマス、第一番ニ庫出稅ノコトニ付テ

御尋シマスガ、庫出稅ト現在ノ稅法トノ間

ノ問題ニ付テハ、酒造組合中央會下地方ノ

○大矢政府委員 是ハ地方ノ稅務署ニ自由ニ其認定ヲ任シテ居ル譯デハゴザイマセヌ、

加算規定ヲ適用スル場合ニ於テハ、稅務署

ニ於キマシテハ全部之ヲ監督局ニ稟議スル、

監督局ノ方デモ主要ナモノニ付キマシテハ

一々大藏省ニ稟議スル、斯ウ云フ手續ヲ取

リマシテ全國的ノ統一ハ取ツテ居ル次第デ

ゴザイマス、ソレカラ標準ヲ示シタラドウ

カト云フコトデゴザイマスガ、此點ハ昨日

ザイマスガ、モウ少シ考へサシテ貰ヒタイ
産ノ耐久年數表ノ資料ガ出マシタカラ、之ヲ能ク研究シマシテ更ニ質問シタイト思ヒ

ト思ヒマス

○板谷委員 サウスルトアトハ今ノ固定資

マス

○高橋委員長 河野密君——内務省ノ政府

委員ハ直キニ見エマスカラ、其間ニ他ノ質問ガアリマシタラ……

○河野委員 ソレデハ其間ニ簡單ニ大藏省ニ御尋シマスガ、モウ殆ド質問ガ終ツテ居リマスノデ、極ク簡単ニ細カイ點ダケ一二御尋致シマス、第一番ニ庫出稅ノコトニ付テ

御尋シマスガ、庫出稅ト現在ノ稅法トノ間

ノ問題ニ付テハ、酒造組合中央會下地方ノ

○大矢政府委員 只今河野サンカラノ御尋

ノ中ニハ、酒造組合ノ統制ガ、昭和十二酒

造年度ニ付キマシテハ昭和十一酒造年度ノ

實績ヲ以テ一應生産制限ヲ行ツタノデアル

ガ、之ヲ丁度大藏省ノ指圖ノヤウニ御尋ニ

ナツテ居リマスガ、先般モ私ガ申上ゲマシタ

通り、酒造組合デ生産ノ統制ニ關スルコト

ヲ行フコトカ出來ルト云フ規定ガ、酒造組

合法ノ改正ニ依ッテ挿入セラレマシテ、其規

定ニ依リ、生産ノ統制ニ關スル規約ヲ定メ

テ大藏省ノ認可ヲ得ルト云フ立前ニナツテ

ウカト云フノハ、將來ノ研究ニ俟チタイト存ジマス

○河野委員 ソレニ關聯シテモウ一點御尋

シマス、昭和十二酒造年度ノ酒造石數ノ割當ハ、昭和十一酒造年度ノ實績ヲ超エルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居リマス

ガ、之ニ對スル大藏當局ノ先般ノ御答辯ニ依リマスルト、是ハ本年ダケノコトデアッテ、來年ハ又之ニ對シテ變ヘルカモ知レナ

イト云フヤウナ御答辯デアッタ思フノデアリマスガ、其點ハ一年限リノ便法デアリマスルカ、ソレトモ本年度ニ決メタ石數ト云フモノハ一定ノ限度内ノ年度ニハ之ヲ適用サレル積リデアリマスカ

アリマスガ、御答辯デアッタ思フノデアリマスガ、政府デハ今度物品特別稅デ庫アリマスガ、政府デハ昭和十一酒造年度ノアリマスガ、之ヲ丁度大藏省ノ指圖ノヤウニ御尋ニ

造年度ニ付キマシテハ昭和十一酒造年度ノ

實績ヲ以テ一應生産制限ヲ行ツタノデアル

ガ、之ヲ丁度大藏省ノ指圖ノヤウニ御尋ニ

ナツテ居リマスガ、先般モ私ガ申上ゲマシタ

通り、酒造組合デ生産ノ統制ニ關スルコト

ヲ行フコトカ出來ルト云フ規定ガ、酒造組

合法ノ改正ニ依ッテ挿入セラレマシテ、其規

定ニ依リ、生産ノ統制ニ關スル規約ヲ定メ

テ大藏省ノ認可ヲ得ルト云フ立前ニナツテ

儘ニ維持シテ行クカ、或ハ現在製造課稅ニ

居リマス、ソコデ先般其規定ヲ實施スルニ

當リマシテ、昭和十二年酒造年度ハドウ云
フ石數ヲ以テ適當トスルカト云フコトニ付
テ議論ヲシタ所ガ、丁度事變ノ關係モアリ
マシテ、酒類ノ將來ノ需要ノ見込ガ十分立
チ兼ネタ、ソコデ先づ前年ノ實績ヲ標準ト
シテ昭和十二酒造年度ノ酒類生産ノ制限ヲ
行ツテ行クコトガ穩當デアラウト云フコト
ニ、組合員ノ意見ガ全體トシテ一致シマシ
テ、サウシテ、其統制規程ヲ定メテ大藏省モ大
體其當時ニ於キマシテ、ヤハリ業者ノ見込
ト同様ノ見込ヲ持ツテ居リマシタシ、業者ノ
意見ガ全部一致シタコトデゴザイマスルカ
ラ、之ヲ認可致シマシテ、隨テ其認可セラ
レタ所ニ基イテ昭和十二酒造年度ト云フモ
ノハ造石ガ行ハレテ居ルノゴザイマシテ、
ルカト云フヤウナコトハ、又酒造組合ガ統
制委員會ヲ開キマシテ、ソコデ各、自分達ノ
各種ノ事情ヲ持寄ツテ決メテ、變更致シマス
ル曉ニ於テハ大藏省ニ更ニ伺ツテ來ルト云
フ立前ニナツテ居リマス

タノデ、地方交付金ノコトヲ御尋致シマス
ガ、昭和十二年度ノ地方財政補給金ハ、道
府縣ガ二千七百五十万圓、市町村一般補給
金ガ六千七百五十万圓、市町村特別補給金
ガ五百万圓、斯ウ云フ風ニ割當ラレテ居タ
ノデアリマスガ、本年度ノ交付金ノ割當ト
云フモノハ大體此標準ニ則ラレルノデアル
カ、或ハ之ニ對シテ御變更ヲ加ヘルノデア
リマスカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

ノ程度ニ減税スル、ソレカラ第三ニ地租附
加税ヲ輕減スルト、斯ウ云フ順序デ本年モ
地方税ノ輕減ヲオヤリニナル積リデアリマ
スルカドウデアリマスルカ

○坂政府委員 金ヲドウ使フカト云フ問題
ニナリ マスルト、今度三千万圓増額ニ相
成リマスレバ、其合計致シマシタ一億三千
万圓ニ付キマシテ考ヘテ見マセヌト、三千万
万圓ハ三千万圓、一億圓ハ一億圓ト云フヤ
ウニ區分シテ考ヘルコトハ困難デアラウト思ヒ
マスシ、又或ハ適當デナカラウト思ヒ
マス、隨ヒマシテ一億三千万圓全體ヲドウ
思ヒマスシ、又或ハ適當デナカラウト思ヒ
マス、云フ風ニ振向ケルカト云フ問題ニナルノデ

レルコトハ非常ニ結構デアリマスルシ、賃
貸價格ノ改訂ニ依テ減收ニナツタ部分ヲ補
填サレルノモ淘ニ結構デアリマスルガ、唯
從來ノ經驗ニ徴シマスルト、地租ノ附加稅
ガ輕減ニナツタ云フ場合ニ於テモ、直接其
爲ニ小作料ガ減ルトカ、或ハ小作農民ノ負
擔ガ減ルトカ云フヤウナ所マデ及バナイノ
デアリマスルガ、地租ノ附加稅ガ減ルト云
フヤウナ場合ニ、斯ウ云フ方面ノ負擔ガ輕
減サレルト云フヤウナ點ニ付テ、何等カ内
務省ニ於テ御考慮ニナツテ居ルカ、或ハ何等
カノ手段ヲ取ルヤウナ御腹案ヲ持テ居ラレ
ルカドウカ、伺ヒタイト思フノデアリマス
○坂政府委員 地租ノ附加稅ガ輕減セラレ
ル場合ニ於キマシテハ、稅法上地租附加稅
ガ何人ノ負擔ニ歸スルデアラウト豫想シタ
モノガアルノデアリマシテ、其人ノ負擔ガ
結局ソレダケ輕減セラレルト云フコトハ、
一應形式的ニハ申上ガナケレバナラヌノデ
アリマス、併シ此租稅ノ負擔ガ實際上本當
ニ何人ノ負擔ニナルカト云フコトハ、其當
時ノ經濟上ノ關係、御互ノ立場ノ強弱トカ
云フヤウナ色々ノ事ガ關聯致シマシテ、結

○高橋委員長　地方局長ガ御見エニナリマシ
○河野委員　　地方局長ガ御見エニナリマシ
シタ

○河野委員 其地方税ノ輕減ノ順序ハ、去
年ノヤウニ、第一ガ内務省デ指定サレタ雜
種税ノ減廢、第二番目ガ特別地税ヲ御示シ

○河野委員 地租ノ附加稅ノ輕減ニ付キマシテ、是ハ內務當局ノ御考慮ヲ煩シタイト思フノデアリマスガ、地租ノ附加稅ガ輕減サ

局ノ負擔者ガ決ルコトニナラウト思ヒマス
ルノデ、實際何人ノ負擔ガ輕減セラレルト
云フコトハ、形式的ニ御答致シマスル外ニ、

的確ノコトヲ申シ兼ネルコトト思ヒマス、此地租附加稅ノ輕減ガ契機トナルト言ヒマスカ、動機トナリマシテ、是ガ小作料ノ關係ニドウ云フ風ニ響キマスカハ、差當リ十分見透シモ付カナイコトデアリマスシ、未ダ之ニ付キマシテ内務省ガ何等カノ指示ヲ地方廳ニ與ヘヨウト云フヤウナ考ハ、只今持ッテ居リマセヌ

○河野委員 只今補給金ノ關係デ地方ノ戸數割ノ過重ナ部分ニ對スル減稅ヲサレルコトニナッテ居リマスルガ、其場合ニ内務省ノ方針トシテ、或ハ市町村ノ歲出ノ方面、例ハサウ云フ方面ニ付テノ御考慮ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレルノデアリマスカ、例ヘテ申シマスレバ、市町村ニ依リマシテ補給金ヲ受ケル町村ニ於キマシテモ、村長ノ手當トカ或ハ、助役ノ手當、役場費ト云フヤウリマスルガ、ソレ等ノ補給金ガサウ云フ風ニ割當テラレマシテ、戸數割ガ減ルト云フヤウナ場合ニ於テ、役場費トノ關係ト云フモノニ付テハ、内務省ニ於テハドウ云フ風ニ御考慮ニナッテ居ルノデアリマスカ、伺ヒタイト思ヒマス

○坂政府委員 補給金ガ十二年度、即チ本

年度ニ付テ申シマスト、是ガ過重ナ租稅負擔ノ輕減ニ充テラレルベキモノデアリマスコトハ屢々明ニセラレタ所デアリマス、實際又サウナッテ居ラナケレバナラヌ筈デアリマス、ソレデ十二年度ニ於キマシテハ、既ニ豫算ガ編成サレテ居リマシテ、其編成サレタ豫算ガ補給金ノ交付ニ依づテ輕減セラレタ譯デアリマス、此實行ニ當リマシテハ、各府縣共ニ先づサウナッテ居ルト思ヒマスガ、縣廳ニ町村理事者ノ御足勞ヲ願ヒマシテ、其町村ノ係リノ者、其他地方課長等が十分ニ御相談ヲ致シマシテ、一々豫算面ヲ見マシテ、而シテ其豫算ニ付テ、或ハ不適當ノ事實ガアルノデヤナイカ、或ハ過重ノ、餘計ナモノガ載ッテ居ルノデヤナイカト云フヤウナ、斯ウ云フコトモ十分ニ審査ヲ致シタ筈デアリマス、隨ヒマシテ餘り際立ッタモノハサウ云フ際ニ於テ適當ニ更正サレテ居ルト信ジテ居リマスガ、唯一般的ニ伺ヒマス議論ト致シマシテ、町村ニ依ツテ財政ノヤリ方ガ非常ニ几帳面ニ出來テ居ル所モアルシ、放漫ノ嫌ト見ナケレバナラヌ所モアル、或ハ濫費ト申ストドウカトハシテハ、ハッキリ申上げ兼ネマスケレドモ、其方面ノコトモ相當ニ出來ルダケノコトハ考ヘナケレバナルマイカト、斯ウ云フ心持ハ持ッテ居リマス

○河野委員 モウ一點御尋シマスガ、人口阜縣ノ東濃地方トカ云フヤウニ、今度ノ事變ニ因リマスル輸出減ニ依ツテ非常ナ經濟的ナ打擊ヲ受ケテ居ル地方ニ對シマシテハ、特別ナル御考慮が必要カト存ズルノデアリマスガ、サウ云フ風ニモ考ヘナケレバナラヌ所モアリ、如何ニモ丁寧ニ、緊縮的ニヤツテ居ル所モアル、之ヲ見ナイデ唯負擔ノ關係ダケヲ減ラスト云フコトハドウモ面白クナイ、歲出方面ニモ十分ノ吟味ヲシナケレバ面白クナイ、斯ウ云フ御話ハ伺フノデアリマシテ、御尤ニ思ヒマス、ソレハソレダケノ意味ニ於キマシテハ正シイ議論デアラウト思ヒマスガ、併シ實際問題ト致シマシテ、町村ノソレドノ歲出ヲ再吟味致シマシテ、ソレヲ全國一ツノ標準ヲ以テ統制スルト云フコトハ、實行問題トシテハ中々困難デアリマシテ、只今申上げマシタヤウナ程度ニ於キマシテハ、十分ニ努力ヲ致シマシテ、ソレリマスガ、ソレ以上ニ付キマシテ餘り劃一的ナコトヲヤルコトハ、實行上ノ可能シテ居リマスガ、ソレ以上ニ付キマシテ餘り理由ガアリ、色々ノ經過ガアリマシテ、町村ヨリモ市ガ薄クナッテ居リマスルコトハ已ムヲ得ナイ事情モアリマスケレドモ、併シ出來上ツテ見ルト如何ニモ貧弱ナ市ニ付性ニ付テモ疑ガアリマスシ、又ソレガドウデアラウカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、先づ町村ニ於キマシテハ從來ノ慣行等ニ依リマシテ、適當ノ費用ガ一應計上達ツタ考ヘ方デハナカラウカト斯ウ考ヘテ

○河野委員 人口五万以上ノ市ニ付キマシテハドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカト云フコトニシテハドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカト云フコトニシテ、餘リ間違ツタ考ヘ方デハナカラウカト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○河野委員 例ヘバ愛知縣ノ瀬戸トカ、岐阜縣ノ東濃地方トカ云フヤウニ、今度ノ事變ニ因リマスル輸出減ニ依ツテ非常ナ經濟的ナ打擊ヲ受ケテ居ル地方ニ對シマシテハ、特別ナル御考慮が必要カト存ズルノデアリマスガ、サウ云フ風ニモ考ヘナケレバナラヌ所モアリ、如何ニモ丁寧ニ、緊縮的ニヤツテ居ル所モアル、之ヲ見ナイデ唯負擔ノ關係ダケヲ減ラスト云フコトハドウモ面白クナイ、歲出方面ニモ十分ノ吟味ヲシナケレバ面白クナイ、斯ウ云フ御話ハ伺フノデアリマス、ソレハ先程モ申上げマシタガ、此金ト使ヒ途ハ關係方面ニモ十分ニ協議ヲシナケレバナラズ、又委員會等ニモ御諮詢リヲシテ決メルコトデアリマスノデ、ハッキリト申上げ兼ネル次第デアリマスガ、現在ノ補給金ガ或ル程度貧弱ナ市ニ出テ居リマスケレドモ、是ガ如何ニモ市ノ方ニ薄イ色々ノ理由ガアリ、色々ノ經過ガアリマシテ、町村ヨリモ市ガ薄クナッテ居リマスルコトハ已ムヲ得ナイ事情モアリマスケレドモ、併シ出來上ツテ見ルト如何ニモ貧弱ナ市ニ付性ニ付テモ疑ガアリマスシ、又ソレガドウデアラウカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、先づ町村ニ於キマシテハ從來ノ慣行等ニ依リマシテ、適當ノ費用ガ一應計上達ツタ考ヘ方デハナカラウカト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○河野委員 例ヘバ愛知縣ノ瀬戸トカ、岐阜縣ノ東濃地方トカ云フヤウニ、今度ノ事變ニ因リマスル輸出減ニ依ツテ非常ナ經濟的ナ打擊ヲ受ケテ居ル地方ニ對シマシテハ、特別ナル御考慮が必要カト存ズルノデアリマスガ、サウ云フ風ニモ考ヘナケレバナラヌ所モアリ、如何ニモ丁寧ニ、緊縮的ニヤツテ居ル所モアル、之ヲ見ナイデ唯負擔ノ關係ダケヲ減ラスト云フコトハドウモ面白クナイ、歲出方面ニモ十分ノ吟味ヲシナケレバ面白クナイ、斯ウ云フ御話ハ伺フノデアリマス、ソレハ先程モ申上げマシタガ、此金ト使ヒ途ハ關係方面ニモ十分ニ協議ヲシナケレバナラズ、又委員會等ニモ御諮詢リヲシテ決メルコトデアリマスノデ、ハッキリト申上げ兼ネル次第デアリマスガ、現在ノ補給金ガ或ル程度貧弱ナ市ニ出テ居リマスケレドモ、是ガ如何ニモ市ノ方ニ薄イ色々ノ理由ガアリ、色々ノ經過ガアリマシテ、町村ヨリモ市ガ薄クナッテ居リマスルコトハ已ムヲ得ナイ事情モアリマスケレドモ、併シ出來上ツテ見ルト如何ニモ貧弱ナ市ニ付性ニ付テモ疑ガアリマスシ、又ソレガドウデアラウカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、先づ町村ニ於キマシテハ從來ノ慣行等ニ依リマシテ、適當ノ費用ガ一應計上達ツタ考ヘ方デハナカラウカト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

ガアリマスルカ、ソレヲ伺ッテ置キマス

○坂政府委員 明年度補給金ヲ各町村ニ配

當致シマスニ付テハ、一應一般補給金トシ

テ原則的ナモノヲ配給シ、更ニ各地方、各

町村ノ實情ニ應ジマシテノ特別ナ配給ヲ致

サナケレバナラヌト思ヒマス、是ハ本年度

ト同様デアリマス、此特別ノ考慮ヲ加ヘマ

ス場合ニハ、又其場合々々、其時々ニ應ジ

マシテノ必要ナ考慮ヲ加ヘナケレバナラヌ

コトハ當然デアリマス、御話ノヤウニ時局

ノ影響等ニ依リマシテ非常ナ打撃ヲ蒙リマ

シタヤウナモノガアリマシタナラバ、適當

ナ方法ニ依リマシテ、出來ルダケノコトヲ

考へタイト思ヒマス

○河野委員 今地方局長カラ色々御話ノア

リマシタヤウニ、補給金ノ問題ハ非常ニ難

カシイ問題ダト思フノデアリマスガ、各市

町村ニ依ッテソレゞ費用ノ使ヒ方モ違ツテ

居ルシ、ソレカラ待遇其他モ違ツテ居ル、ソ

レニ對シテ唯補給金ヲヤル、ソレモ全體ノ稅

ヲ減ラスト云フノデナシニ、或ル特殊ノ稅

ヲ減ラスト云フヤウナコトデハ不公平ガ起

ルノデハナカラウカト思フノデアリマスガ、

補給金ノ方法トシテハ最初ニ申シマシタヤ

ウニ、交付金ノ制度ニシテ、一定ノ稅ヲ指

定シテ全體ヲ減ラスト云フヤウナ立前ニス

ルカ、或ハソレデナケレバ義務教育費トカ

云フヤウナ一定ノ使途ヲ明ニシテ、補給

金ヲ其限度ニ於テナサルカ、斯ウ云フ

方法ニシナケレバ、私ハ補給金ノ問題ハ

毎議會々々々——非常ニ言葉ガ惡イノデア

リマスガ、一種ノ取引ミタイナ關係ニナル

コトハ非常ニ面白クナイコトダト思フノデ

アリマスガ、其點ヲドウ云フ風ニ御考ヘニ

ナツテ居リマスルカ

ソレトモウツハ臨時地方財政補給金ノ

委員會ガ出來テ居ルノデアリマスガ、是ハ

モウ少シ人數ヲ殖ヤシテ、サウシテ私ガ先

刻申シマシタヤウナ、農村ノ下級ノ人々ノ

點ニ付キマシテ、成ベク之ヲガッチリトシタ

モノニ固メマシテ、彼此レト面白クナイ非

難ヲ受ケルヤウナ結果ガ生ズルコトノアリ

マセヌヤウニ、極力努力致シタイト考ヘマ

ス

聲モ反映スルヤウナ委員會ノ構成ニシタラ

ドウカト、斯ウ思フノデアリマスガ、サウ

云フヤウナ點ニ付テ臨時地方財政補給金委

員會ト云フモノヲ擴大スル御趣旨ガアルカ

ドウカ、此二點ヲ御伺シタイト思ヒマス

○坂政府委員 臨時地方財政補給金ハ、御

承知ノヤウニ中央地方ヲ通ジマスル稅制ノ

基本的ナ改革ガ出來マスルマデ、臨時的ナ

措置トシテ行ハレテ居ルノデアリマス、隨

ヒマシテ其歴久的ナ制度ガ確立致シマシク

デアリマシテ、其方面ノ御意向モ相當述べ

テ行ク性質ノモノト思ヒマス、唯其經過的

ナモノニ致シマシテモ、基本的ナ制度ガハッ

キリト今日何時出來ルカハ分ラナイノデア

リマシテ、是ガ若干時日ヲ要スルト云フコ

トニナリマスルト、其間ニ付キマシテモ、

マス、中央地方ヲ通ズル稅制ノ根本的改革

ノ問題ガ、此委員會デモ度々問題ニナッテ

居ルノデアリマシテ、是ヲドウシテモヤラ

ナケレバ、補給金ノ問題デモ地方ノ稅ノ整

理ノ問題デモ何デモ出來ナイ、總テガ其處

ニ引懸ツテ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリ

マス、ソレバカリデナシニ、長期戰ト云フ

言葉ニモ色々御話ノア

ト致シマシテハ是ハ中々困難ナモノデアリ

マス、唯其使途ノ關係、財源ノ關係其他ノ

紛争モ起ラズ、又是ガ色々今御話ニナリマ

シタヤウナ非難ヲ受ケルコトノナイヤウニ

ト致シマシテハ是ハ中々困難ナモノデアリ

マス、唯其使途ノ關係、財源ノ關係其他ノ

點ニ付キマシテ、成ベク之ヲガッチリトシタ

モノニ固メマシテ、彼此レト面白クナイ非

難ヲ受ケルヤウナ結果ガ生ズルコトノアリ

マセヌヤウニ、極力努力致シタイト考ヘマ

ス

ソレカラ町村ノ財政補給金ノ配當ヲ決メ

マスル委員會ノ御話デアリマスガ、是ハ只

今ノ所勅令デ一定委員數ヲ決メテ、ソレニ

私共ノ判断デハ先づ各方面ノ方々ヲ御集リ

願ツテ、ソレゞノ意見ガ反映セラレルヤウ

ニ考ヘテ居ル積リデアリマス、農村方面ニ

付キマシテモ、町村長會方面、或ハ農會方

面等ノ代表ノ方ニモオ出デラレルヤウ

ニ付ケルヤウナ考ヲヤメテ、現在ノ稅制ノ

整理配分ト云フコトヲ基礎ニシテ考ヘルナ

ラバ、サウ難カシイコトデハナカラウカト

思フノデアリマシテ、稅制ノ根本的改革ト

云フコトガ現下ノ急務デアルシ、長期戰ト

云フヤウナ經濟戰ヲ豫想スル場合ニ於テハ、

絕對必要ナコトデハナカラウカト思フノデ

○河野委員 ソコデ私ハ大藏大臣ガ御見エ

ニナツタノデ一點ダケ御尋シタイノデアリ

マス、中央地方ヲ通ズル稅制ノ根本的改革

ノ問題ガ、此委員會デモ度々問題ニナッテ

居ルノデアリマシテ、是ヲドウシテモヤラ

ナケレバ、補給金ノ問題デモ地方ノ稅ノ整

理ノ問題デモ何デモ出來ナイ、總テガ其處

ニ引懸ツテ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリ

マス、ソレバカリデナシニ、長期戰ト云フ

言葉ニモ色々御話ノア

ト致シマシテハ是ハ中々困難ナモノデアリ

マス、唯其使途ノ關係、財源ノ關係其他ノ

點ニ付キマシテ、成ベク之ヲガッチリトシタ

モノニ固メマシテ、彼此レト面白クナイ非

難ヲ受ケルヤウナ結果ガ生ズルコトノアリ

マセヌヤウニ、極力努力致シタイト考ヘマ

ス

ソレカラ町村ノ財政補給金ノ配當ヲ決メ

マスル委員會ノ御話デアリマスガ、是ハ只

今ノ所勅令デ一定委員數ヲ決メテ、ソレニ

私共ノ判断デハ先づ各方面ノ方々ヲ御集リ

願ツテ、ソレゞノ意見ガ反映セラレルヤウ

ニ考ヘテ居ル積リデアリマス、農村方面ニ

付キマシテモ、町村長會方面、或ハ農會方

面等ノ代表ノ方ニモオ出デラレルヤウ

ニ付ケルヤウナ考ヲヤメテ、現在ノ稅制ノ

整理配分ト云フコトヲ基礎ニシテ考ヘルナ

ラバ、サウ難カシイコトデハナカラウカト

思フノデアリマシテ、稅制ノ根本的改革ト

云フヤウナ經濟戰ヲ豫想スル場合ニ於テハ、

絕對必要ナコトデハナカラウカト思フノデ

アリマス、其點ニ對スル大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○賀屋國務大臣 事變ノ前途ガドウ云フ風ニナルカ、所謂長期戰ト言ヘレテ居リマスケレドモ、長期ヲ覺悟セネバラヌコトハ事變ノ初メカラデアリマス、更ニ最近所謂長期ト言ハレタノハ、獨逸ノ好意アル交渉ガ始メラレマシタガ、支那ガ應ジナカッタ云フ譯デアリマスガ、アノ際ニ濟マナカッタカラ長期ヲ覺悟シナケレバナラヌ、是ハ其意味デアルノデアリマス、ソレデ今御話ノヤウニ、所謂兵力ニ依ル戰鬪ガ少クナツテ、長ク同ジ狀態ガ續クカドウカ、前途ハ全ク分リマセヌノデ、本年四十八億ノ軍事費ノ御協贊ヲ經タヤウナ次第デアリマス、昨年ノ二十五億ニ、加フルニ是ガ出マシタ結果ノ、國家國民全體ニ瓦ル所得ノ變化ハ相當大キイモノト思ヒマス、其次ニ是ガ來年カラドウナルカト云フコトモ分リマセヌ只今トシテ、長期戰デ一ツノ安定點ヲ見出スカドウカト云フコトニ付キマシテハ、今ノ所前途ハ分ラナイ譯デアリマス、是マデ他ノ御質問ニ付テ申シマシタ如ク、アノ整理ハ増減アルコトヲ意味スル整理デアリマシテ、新規租稅制度ノ樹立ヲ意味スルモノトハ違シキ租稅制度ノ樹立ヲ意味スルモノトハ違シキ租稅制度ノ樹立ヲ意味スルモノトハ違

ニ、整理ノ爲ニ或ル者ハ更ニ加重サレルト云フヤウナコトハ、負擔ノ激變ト云フ意味ニモ考ヘラレルノデアリマス、例ヘバ農村ト都市トノ負擔ノ均衡ニ致シマシテモ、昨

今ノ農產物ノ價格ナラバ、最近ノ稅制ノ變化ト相俟チマシテ、今マデ世人ガ言ヘレタ

如キ負擔ノ不平衡ハ大部分除去サレテ居ルヤウニモ見エルノデアリマス、然ラバ斯ウ云フ狀態ガ續クカ、或ハモウ少し以前ニ遡テ農產物ノ價格ノ低カッタ狀態ニナルカ、是等ノ見定メモ付カナイノデアリマス、其場合ニ今ノヤウナ農產物ノ價格ヲ前提ト致シ

マシテ、稅制整理、負擔ノ平衡——都市ト農村トノ負擔ノ平衡ヲ圖リマス場合ト、是ガ違フ場合トハ大變ソコニ變化ガ起リ得ル譯デアリマス、只今ハドウモ急ナ機會ニ是ガ

行ハレ得ルト云フコトヲ、斷定的ニ考ヘル譯ニ行キマセヌ、成ベク早イ機會ニ於テ之ヲ行フト云フコトニ付キマシテハ全ク御同感デアリマスガ、ソレ以上ハ今日ノ場合申上ゲ兼ネマス

○河野委員 ソレニ付テ關聯シテ御尋致シ

マスルガ、此前中央地方ヲ通ズル根本的ナ改革ヲヤルト云フコトデ、稅制調査會ト云

フモノヲ御設ケニナツタノデアリマスルガ、

是ガ一年カ或ハ數年カ分リマセヌガ、先へ

云フヤウナコトハ、負擔ノ激變ト云フ意味ニモ考ヘラレルノデアリマス、例ヘバ農村

ト都市トノ負擔ノ均衡ニ致シマシテモ、昨

今ノ農產物ノ價格ナラバ、最近ノ稅制ノ變化ト相俟チマシテ、今マデ世人ガ言ヘレタ

如キ負擔ノ不平衡ハ大部分除去サレテ居ルヤウニモ見エルノデアリマス、然ラバ斯ウ云フ狀態ガ續クカ、或ハモウ少し以前ニ遡テ農產物ノ價格ノ低カッタ狀態ニナルカ、是等ノ見定メモ付カナイノデアリマス、其場

合ニ今ノヤウナ農產物ノ價格ヲ前提ト致シ

マシテ、稅制整理、負擔ノ平衡——都市ト農村トノ負擔ノ平衡ヲ圖リマス場合ト、是ガ違フ場合トハ大變ソコニ變化ガ起リ得ル譯

デアリマス、只今ハドウモ急ナ機會ニ是ガ

行ハレ得ルト云フコトヲ、斷定的ニ考ヘル

譯ニ行キマセヌ、成ベク早イ機會ニ於テ之ヲ行フト云フコトニ付キマシテハ全ク御同感デアリマスガ、ソレ以上ハ今日ノ場合申上ゲ兼ネマス

○河野委員 私ハ大體大藏大臣ニ對スル質問ハソレテ終ルノデアリマスガ、唯一ツ御耳ニ入レテ置キタイノハ、稅ノ負擔均衡ノ問題ニ付テ、今度ノ稅ハ國防費ノ應分ノ負擔ト云フヤウナ意味デ御取リナルト云フヤウナ立前カラ、其間ノ所謂大衆課稅ト申シ

マスルカ、サウ云ツタモノトノ均衡ニ付テモ交付金等ニ對スル質疑ニ關聯シテデシタラ

シテ貴ヒ、所得ノナイ者ハ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ立前ヲ貫イテ戴カナイト云フト、結論トシテ稅ハ匪賊ヨリモ恐ロシトイ云フヤウナ結果ニナツタラ、私ハ大變ダト思フノデアリマス、現在ノ稅制ガサウナツテ居ルトハ決シテ申シマセヌガ、其點ヲ十分ニ御考慮願ヒタイト存ズルノデアリマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○高橋委員長 森田君、河野君ノ地方財政交付金等ニ對スル質疑ニ關聯シテデシタラ御許シ致シマス

スガ、只今内務大臣ニ此席デ御尋申上ゲタ
時ノ御答辯ト、今ノ地方局長ノ答辯トハ多
少違フヤウニ私ハ思ッテ、心配ニナリ出シタ
カラ御尋申上ゲルノデアリマス、昨年ノ一
億圓ノアノ地方ヘノ交付金ハ、色々分配方ニ
付テ異論モアツカラ、本年カラハ異論ノナ
イヤウニ努メテ改メルト云フ 意味ノコト
ヲ、私ノ問ニ對シテ内務大臣ハ答ヘラレタ
カラ、私ハソレデ安心シテ居ツタノデアリマ
スガ、只今河野君ニ對スル御答ニ依ルト、
大體ヤハリ一億圓ダケデ、場合ニ依レバ昨
年ノ例ニ依ル、斯ウ言ハレタ、私ハ昨年ノ
例ニ依ラレテハ困ルノデ、其點ヲ實例ヲ舉
ゲテ申上ゲタノデアリマス、私ノ廣島縣ノ
三原町ノ如キハ、縣ガ干涉ヲシテ、貧弱ナ
ル町ヲ二ツ村ヲ四ツ集メテ市ニシタノデ
ス、縣ガ警察署ノ署長マデ奔走サシテ合併サ
シタノデス、所ガ此合併ヲシタ爲ニ第一回
ノ分配金ニ與カラナカッタ、サウスルト私ノ
地方ノ者ハ合併スルノデヤナカッタ、縣ハ不
都合ダ、合併スレバ如何ニモ分配金ガ殖
カニシタコトガアルノデアリマスガ、併シ吳
爾ヤウナコトヲ言ツテ合併サシテ置イテ、
合併シタラ吳レナイ、吾々ハ多少ソレニ盡
カラ、本年ハヤハリ市ト云フ名ガ付イテ居

初回ノ分配金カラ分配スルヤウニヤッテ貰
ハナケレバ不公平ダト言ウテ間ウタ所ガ、
内務大臣ハ、ソレハ昨年ノハ色々異論ガアツ
タカラ、本年カラハ異論ノ決シテナイイヤウ
ニ改メル積リデアルト言ハレタ、ソレデ私
ハ安心シテ居タ、所ガ今地方局長ノ河野君
ヘノ御答ニ依ルト、一億圓デアルナラバ、
大體去年ノ通リト云フコトデアリマスカラ、
又心配ガ起ッタ、是ハアナタノ言ハレルコト
ガ本當ダラウト思フ、内務大臣ヨリハアナ
タノ方ガ直接ヤツテ居ルノダガラ、アナタノ
方ニ重キラ置イテ見ナケレバナリマセヌ、
併シ今ノアナタノ答辯デハ一層心配ガ起ル
ノデアリマスガ、今通リデ間違アリマセヌ
カ

御答ニナツタヤウナ氣持ガ致シマス、私ハ其通リデアルト思ヒマス、私ガ先程申シマシタノモ、必シモ今年ヤリマシタ通リニ拘泥シテ居ル積リデハナイノデアリマシテ、大體先程ノ河野サンノ御尋ハ、一億圓ノ場合ニ町村ニドノ位ノ金ガ行クカ、府縣ニドノ位ノ金ガ行クカト云フコトデアリマシタノデ、ソレハ大體一億圓トスレバ、今年ト同ジヤウニ府縣ニ二千七百五十万圓、各町村ニ七千二百五十万圓、斯ウ云フコトニナリマセウ、併シ一億三千万圓ニナツタナラバ、全體ヲ通ジテ考ヘナケレバナラヌ、是ハマダハツキリ決シタノデハアリマセヌノデ、マダ能ク關係方面ヲ研究シナケレバナリマセヌジ、委員會等ニ御諮詢シテ決メナケレバナラヌ、斯ウ云フコトヲ申シタノデアリマス、其次ニ人口五万以上ノ市ニ付テハドウカト云フコトデアリマシタノデ、市ニ對シテハ交付金ノ生立等ヲ考ヘテ、町村ニ比べテ市ガ損ニナツテ居ルコトハ事實デアル、サウナルグケノ理由ガアツテナツテ居ルノデアルガ、市ノ方面カラ見レバ此制度ガ出來タ後カラ考ヘルト何トナシニ不満足ニ思ハレルト云フコトヲ聞イテ居ルシ、其點ナラバ御尤ト思フカラ、尙ホ此コトニ付テハ色々考ヘテ見タイ、斯ウ云フ意味ノコ

トヲ申述ベタノデアリマス、別段内務大臣ノ御答ニナツタコトト變シテ居ルヤウニモ思ハナイノデアリマス

○森田委員 ソレデヘ私ノ聽キヤウガ惡カツタノデアリマス、速記録ヲ見レバ分リマスガ、私ハ實例ヲ擧ゲテ今度ハ市ニ對シテドウ云フ風ニ御ヤリニナルカト間フタノデアリマスガ、改メテ率直ニ私ガ先程實例ヲ擧ゲテ述べタヤウナ、小サナ市ニ付テハ、本人ガ進ンデ市ニナツタノナラバ別デアルガ、當局ガ勵獎シテ作ツタヤウナ市ナドニ對シテハ本年ノ交付金ノ分配ニ付テ考慮セラレルヤ否ヤ、之ニ對シテ簡単ナ答辯デ結構デアリマスカラ伺ヒタイ

○坂政府委員 市ヲ何處カラ見ルカト云フコトヘ、本年ノ分配ノ場合ニハ、昨年三月三十一日ヲ期限ニシマシテ、其時以前ニ於テ市デアルモノヲ市ト見タノデアリマス、ソレニ付テハ二月ニ市ニナツタモノハ直前デアルカラ、町ト同ジ扱ニシテ貰ヒタイト云フヤウナ御希望モアリマシタガ、サウナリマスト限リノナイコトデアリマスカラ、先づ年度ノ終ヲ捉ヘマシテ、三月三十一日ト云フコトデ市デアルカ町デアルカト云フコトヲ區別致シタノデアリマス、此區別ハ將來トシテモ致シ方ガナイト思ヒマス、唯

財政ノ非常ニ惡イ所デアリマスナラバ、形

式上ハ市ト云フコトニナッテ居リマシテモ、

非常ニオ氣ノ毒ナ事情ガアリマスノデ、貧

弱ナ市ニ付キマシテハ出來ルダケノコトヲ

考ヘル、斯様ニ考ヘテ居ル次第アリマス

○西村委員 大藏大臣ニ御尋致シタイデス

ガ所得稅法ノ第十三條ニハ「第二種ノ所得

ハ其ノ支拂ヲ受クヘキ金額ニ依ル」、斯ウ原

則ガ定メテアリマスガ、改正案デハ「但シ

一時恩給又ハ之ニ類スル退職給與ハ其ノ支

拂ヲ受クヘキ金額ヨリ五千圓ヲ控除シタル

金額ニ依ル」、斯ウ云フコトニナッテ居リマ

ス、即チ本但書ハ控除主義ヲ用ヒラレテ居

ルノデアリマス、他ノ法制ノ上カラ見マシ

テ、控除主義ヲ採ツテ居ラレルノハ是ガ始

マリデアル、何ガ故ニ是ノミニ控除主義ヲ

採ラレタノカ、御所見ヲ伺ヒタイ

○賀屋國務大臣 政府委員ヨリ御答辯致サセマス

○大矢政府委員 是ハ退職ニ依ル給與金デゴザイマシテ、長年勤續致シマシテ、退職シタ後ニ於テハ此退職賜金ヲ普通唯一ツノ資トシテ生活シテ行ク、斯ウ云フモノデゴザイマスカラ此點ヲ考慮致シマシテ、五千圓ヲ超エル退職金ノ支拂ヲ受クル場合ハ、五千圓ダケハ控除シヨウト云フコトニシタ

次第アリマス

○西村委員 實ハ私立學校ナドニハ恩給モ

退職規程モナインガ、大抵今迄ノ例デアリ

マス、隨テ私共ノ關係シテ居ル所ノ私立學

校ニ於テ、何カ之ニ似通フベキモノヲ作ッ

テヤリタイ、斯ウ考ヘタ結果先づ其學校ヘ

教授トシテ入レバ、其入ッタ際ニ教授竝ニ

學校ガ兩方共犠牲ヲ拂ツテ保險金ヲ拂フ、其

保險金ニ依ッテ將來ノ退職ノ給與金ニ當ル

ヤウニ種々考案ヲ致シテ居ル、他ノ私立學

校ニ話シタ所ガ、ソレハ非常ニ宜イ方法ダ

ト云ツテ贊成スルモノガ相當アル、此方法ハ

初メテ就職シタ時ニ保險ヲ付ケテヤツテ、學

校ト教師ト兩方デ其保險料ヲ支拂ヒ、以テ

退職給與ニ當テルノデアル、斯ウ云フ考ヲ

持ツ私立學校ガ隨分アルノデゴザイマス、

斯ノ如キハ精神的ニ實質的ニ此但書ト全ク

一致スル、法制ノ上カラ言ハベは保険金

デアツテ五千圓迄ハ免除サレルガ、五千圓以

上ハ支拂價格ニ依ッテ課稅セラレル、斯ウ云

フコトニナルトソコニ非常ナ不公平ヲ生ズル

ト思フノデアリマス、私ハ控除主義ハ洵ニ

一一番多ク一般ノ國民カラ請願シテ來ル所、

公平ナ主義ト思フ、今回ノ改正案ニ關係シ

テ、御尋致シタラ、其初メニ學校ニ入ッタ年カラ

シテ居ッタラ、其初メニ學校ニ入ッタ年カラ

定ノ期間例ヘバ二十年ナラ二十年ト云フ「ト

シテ居ッタラ、其初メニ學校ニ入ッタ年カラ

シテ居ッタラ、其初メニ學校ニ入ッタ年カラ

シテ居ッタラ、其初メニ學校ニ入ッタ年カラ

ガアルヤウデアル、茲ニ控除主義ヲ採ラレ

タコトハ、非常ニ稱讚スル意味カラ御尋ス

ルノデアリマスガ、斯ウ云フ控除主義ヲ只

今申述ベタモノニ適用スルト云フ御考ガア

ルカドウカ

ハ保險金デアルガ、事實ハ一代ニ於テ粒々

辛苦シテ稼イダ結果ヲ貰フト同ジ性質ニナ

ル、尤モ今茲ニ直グ之ヲ適用セヨト云フコ

トヲ言フノデナイガ、若シ此控除主義ガ準

用セラレルト、洵ニ公平ニナル、又今回ノ

世間ヲ騒ガシテ居ル所ノ陳情ノ目的ガ、控

除主義ヲ希望シテ起シテ居ルコトヲ考ヘル時

ニ、爲政者ハ大ニ考ヘナケレバナラヌト思

フ、御考ヲ承リタイ

○大矢政府委員 今ノ學校ニ於テ職員ニ保

險ニ加入ヲサシテ保險料ヲ支拂ッテヤル、ソ

レデ退職シタ場合ニ保險金ヲ受取ルヤウニ

スルノデゴザイマセウカ、其職員ガ死ンダ

セウカ其點ヲ一寸…

○西村委員 御尋ノ件ハ一寸アナタ方ノ常

識カラ言フト頭ニ入ラナイカモ知レヌガ、

世ニ私立學校ト云フモノニハスノ如キ氣ノ毒

ナ事情ガアルコトヲ此處ニ同時ニ頭へ入レ

テ置イテ戴ク爲ニ申述ベマス、即チ私立學校

ドウカシテ教師ノ將來ノ安定ノ途ヲ開イテ

ヤリタイ、斯ウ考ヘテ一定ノ年間教授ヲ致

シテ居ッタラ、其初メニ學校ニ入ッタ年カラ

シテ居ッタラ、其初メニ學校ニ入ッタ年カラ

シテ居ッタラ、其初メニ學校ニ入ッタ年カラ

シテ居ッタラ、其初メニ學校ニ入ッタ年カラ

シテ居ッタラ、其初メニ學校ニ入ッタ年カラ

シテ居ッタラ、其初メニ學校ニ入ッタ年カラ

シテ居ッタラ、其初メニ學校ニ入ッタ年カラ

シテ居ッタラ、其初メニ學校ニ入ッタ年カラ

シテ居ッタラ、其初メニ學校ニ入ッタ年カラ

ニ支給シタ場合ニハ、ヤハリ相續財産ニ加算サレル、サウシテ其場合ニ五千圓以上ニナル場合ニハ全額課稅サレル、斯ウ云フコトニナリマスノデ、今御示シノ場合モ是等トノ關係上全額課稅サレルノモ、此權衡上已ムヲ得ナイカト存ジマス

○西村委員 私ノ言葉ガ足ラナカッタカト思ヒマス、例ヘバ教師ヲ傭ヒ入レル、其教師ガ二十箇年其處ニ勤メテ居ル、或ハ十五箇年勤メテ居ル、サウ云フ場合ニ於テハ「トントン」法ノ保險法ニ依リマシテ、丁度二十箇年或ハ十五箇年ニ一定ノ金額ガ渡サレルヤウニ仕組ムノデス、其ヤウナ場合ハソレハ保險會社カラ貰フ金デアルカラ、確ニ此法ノ即チ但書ノ場合ト同一ノ待遇ヲ受ケ書ニ依リ處理サレルカ、斯ウ云フノデス

○大矢政府委員 學校ガ保險契約者デ職員ガ被保險者ニナツテ居ル場合ニハ、此保險金ニ對スル課稅ト云フコトハ起シテ來ナイヤウニ思ハレマス

○西村委員 學校ガ保險者ニナルノヂヤナイノデス、保險會社ガ學校若クハ教員ト保険契約ヲスルノデス

○大矢政府委員 學校ガ保險契約者デ……○西村委員 學校ガ保險契約者ニナル事モ

アリ、又本人ガ保險契約者ニナル事モアルノデス、分ラヌナラバ後デ非公式デ話シテモ宜イノデスガ……近頃私立學校デヤラウト聽イテ置クコトガ必要デアルノデ今伺ッタノデス、即チ同日論見ハ私立學校ニテ本人ガ死ネバ一ツノ受領金ガ保險金ニナル、死ナネバ一ツノ貯金ニナルノデス、是デ以テ定ノ期間學校ノ教授ニナツテ居ルナレバ將來家族ノ生活安定トナリ、又老後餘命ヲ安定期間勤務スレバ五千圓ナリ或ハ七千圓ヲ置ケバ家族ガ五千圓貰ヘル譯デアル、若シアル、サウ云フ場合デアルカラ、ソレニ對スル課稅方法ヲ此場合ニ於テ聽イテ置クコトガ其出現ノ上ニ必要デアラウト思フノデス、精神ニ於テハ丁度本但書ノ場合ト同ジ地位ニ立ツ事トナルノデアル、其契約者ハ員ハ或ハ被保險者或ハ預金者ト云フヤウナト考ヘラル、點デアリ、是ハ昨日勝氏ヨリ法人ニハ寛デアリ個人ニハ非常ニ酷デアル、モニク質問サレタノデアリマスカラ、其點ハ繰返シマセヌガ、唯減價銷却或ハ利子ノ控除、法人ナラバ當然控除サレルガ、個人デアルトソレガ出來ナイ、此差別ガ一般ノ神經ヲ刺戟シテ居ルヤウデアリマス、併ナガラ政府ハ帳簿ノ正確性ヲ認ムレバソレニ依シテ減價銷却ナドハ認メル、斯ウ云フヤウナ御言明ガアッタ考ヘテ居リマス、是ハ洵ニ當然ナコトデアッテ、又良キ考デアルト思フノデス、然ラバドウ云フ帳簿ニ記入スル

アリ、又本人ガ保險契約者ニナル事モアルノデス、即チ同日論見ハ私立學校ニテ本人ガ死ネバ一ツノ受領金ガ保險金ニナル、死ナネバ一ツノ貯金ニナルノデス、是デ以テ定ノ期間學校ノ教授ニナツテ居ルナレバ將來家族ノ生活安定トナリ、又老後餘命ヲ安定期間勤務スレバ五千圓ナリ或ハ七千圓ヲ置ケバ家族ガ五千圓貰ヘル譯デアル、若シアル、サウ云フ場合デアルカラ、ソレニ對スル課稅方法ヲ此場合ニ於テ聽イテ置クコトニナルカラデス

○高橋委員長 西村君一寸御尋致シマスガ、アナタノ今仰セニナツタノハ、保險料ヲ學校ガ立替ヘルトカ補給シテ拂込ヲセシムル、斯ウ云フ意味ガ含マレテ居ルノデスカ

○西村委員 サウデス

○高橋委員長 學校ガ補給スルカラ控除規定ニ當嵌ルト云フ御意見デスカ

○西村委員 是ハ一寸ナライ例デスカラ御諒ム、此場合ニハ本但書ヲ準用スルコトガ出来レバ、私立學校アタリデハ恩給「ファン

ガ足ラナカッタカトモ思ヒマスガ、官立、公立ノ學校ニ於キマシテハ、或ハ官吏ニ於

ニ好イ機會ヲ與ヘル事ト考ヘラレルノデ、茲ニ牽聯シテ是但書ノ準用ニ付テ質問シタ譯デス

○大矢政府委員 日本ノ保險ノ制度ニ於テ、保險契約者以外ノ者ガ保險料ヲ支拂フト云フコトハアリマスカドウカ、私一寸疑ヲ持テ居ルノデゴザイマス、後デ詳シク事情ヲ伺ッテ考ヘサセテ貰ヒタイト思ヒマス

○西村委員 他ノ人ニ御迷惑ニナリマスカラソレデ宜シウゴザイマス、今回改正デ此控除問題ト相竝ンデ、モウ一ツ一般民衆ノ頭ヲ刺戟シテ居ル問題ガアル、ソレハ個人ト法人トノ収益ヲ計算スル上ニ於テ、ドウモト考ヘラル、點デアリ、是ハ昨日勝氏ヨリモニク質問サレタノデアリマスカラ、其點ハ繰返シマセヌガ、唯減價銷却或ハ利子ノ控除、法人ナラバ當然控除サレルガ、個人デアルトソレガ出來ナイ、此差別ガ一般ノ神經ヲ刺戟シテ居ルヤウデアリマス、併ナガラ政府ハ帳簿ノ正確性ヲ認ムレバソレニ依シテ減價銷却ナドハ認メル、斯ウ云フヤウナ御言明ガアッタ考ヘテ居リマス、是ハ洵ニ當然ナコトデアッテ、又良キ考デアルト思フノデス、然ラバドウ云フ帳簿ニ記入スル

ナラバ 政府へ正確ト認メルノデアリマスカ、

現在ニ於テモ個人ガ相當此帳簿ニ注意シ正

式簿記ノ素養ノアル者ヲ使ッテ整理シテ居

ルガ、係官吏カラ信用ヲ置カレナイ、若シ

親切アラバ政府ガ斯ノ如キ帳簿ニ依ッテヤ

レ、其帳簿ニ依ッテヤルナラバソレハ認メシ

ウ、斯ウ云フコトデアレバ其帳簿ヲ示シテ

貰フコトガ出來レバ民衆ハ喜ブデアラウ、

本年度ニ於テ政府ガ必ズ之ヲ實行スルカド

ウカ、此點ヲ一應確メテ置キタイト思ヒマ

ス

○大矢政府委員 個人營業ノ場合ニ減價銷

却ヲ稅法上經費ニ認メルカドウカト云フコ

トニ付キマシテハ、是ハ認メ得ルモノダト云

フコトヲ御答申シテ置キマシタガ、實際ノ適

用ニ當リマシテハ帳簿モ整然トシテ居リマ

シテ、毎年幾ラ宛減價銷却ヲシテ居ルト云フ

事實モハッキリ致シテ居ルモノニ對シテハ、

之ヲ經費ト見テ行クヨリ外仕方ガナイ、將來

漸次帳簿組織モ完備シ、毎年ノ減價銷却ノ

狀況モ截然ト分ルヤウニナレバ、漸次其範

圍ヲ廣メテ行キタイ、斯ウ申シテ居ルノデ

アリマス、法人ニ於キマシテモ帳簿ガ完備シ

テ居ルカラ直チニ進ンデ減價銷却ヲ認メル、

斯ウ云フコトハ致シテ居リマセヌノデ、法
人ニ於キマシテモ帳簿組織ガ完備シタ上ニ、

毎年々々進ンデドレダケノ銷却ヲシテ居ル

ト云フコトヲハッキリ致シテ居ル場合ニ、一

定ノ範圍内ノ銷却ナラバ之ヲ認メテ行クト

云フコトニシテ居ルノデゴザイマシテ、隨

テ個人ノ場合ニ於テモ帳簿ガハッキリシテ

居ル、サウシテ固定資產ノ狀況モハッキ

リシテ居ル上ニ、毎年々々如何ナル銷却ヲ

ヤッテ居ルカ、即チ當初ノ受入價額ガドウデ

アルカ、ソレ以來毎年ドウ云フ風ニシテ銷

却シテ居ルカ、今年モドレダケ銷却シテ居

ルカ、斯ウ云フコトガハッキリシナケレバ、

之ヲ認メルニモ中々認メ難イカト存ジマス、

如何ナル帳簿ヲ備ヘ付ケタナラバ認メテ吳

レルカト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ必

シモ様式ヲ是レ～デナケレバナラヌト一

定スル必要ハナイノデゴザイマス、普通見

テ分ルヤウナ帳簿、而モ先程申上ダタ通り、

每年ノ減價銷却ノ率モ分リ、本年モ是ダケ

銷却シヨウト云フ事實ガ分レバ、認メテ宜

カラウト考ヘマス

○西村委員 サウスルト營業収益ノ計算ニ

付テハ、個人モ會社モ其處ニ區別ハナイ、

コトデ、急ガレテ居リマスガ、アナタノ質

問ヲ一寸保留シテ戴ケマセヌカ

○西村委員 ソレデハ御尋スル事ヲヤメテ

確メテ置キマス

○高橋委員長 西村君ニ一寸御誼リ致シマ

ス、内務省ノ地方局長ト警保局長ガ他ノ委

員會ニ出席ノ途中デコチラニ見エタト云フ

コトデ、急ガレテ居リマスガ、アナタノ質

問ヲ一寸保留シテ戴ケマセヌカ

○西村委員 ソレデハ是デ一時保留シテ置

キマス

○高橋委員長 警保局長ガ急ガレルサウデ

般デアリマス、從テ將來ハスク御言明ノ上

ハ認メルト云フコトガ當然デアルト思ヒマ

スガ如何デスカ

○大矢政府委員 此鎖却ハ事實毎年ドレダ

ケ鎖却シテ行カナケレバナラスト云フコト

デゴザイマスカラ、法人個人ノ間ニ差別ノ

アル筈ガナイト存ジマス、ソレカラ今後新

シク備付ケタ設備ト云フヤウナモノハ、是

ハ是カラノ整理ヲ良クシテ置ケバ問題ガナ

イガ、過去ニ於テ取得シテ居ル諸設備ニ

付テハ、實際ノ適用ニ當ツテ相當ノ困難ガア

ルカト存ジマスガ、是ハ將來整然ト記帳シ

ニ見ルカト云フコトヲハッキリシテ置ケバ、

テ行クト云フ場合ニ、現在ノ時價ヲドレ程

付テハ、實際ノ適用ニ當ツテ相當ノ困難ガア

ルカト存ジマスガ、是ハ將來整然ト記帳シ

ニ見ルカト云フコトヲハッキリシテ置ケバ、

自ラ將來ノ鎖却ガ分ルヤウニナッテ行クノ

デハナカラウカト思ヅテ居リマス

○西村委員 ソレデハ御尋スル事ヲヤメテ

確メテ置キマス

○高橋委員長 西村君ニ一寸御誼リ致シマ

ス、内務省ノ地方局長ト警保局長ガ他ノ委

員會ニ出席ノ途中デコチラニ見エタト云フ

コトデ、急ガレテ居リマスガ、アナタノ質

問ヲ一寸保留シテ戴ケマセヌカ

○西村委員 ソレデハ是デ一時保留シテ置

キマス

○高橋委員長 警保局長ガ急ガレルサウデ

スカラ、河野君ノ御質問ヲ許シマス

○河野委員 大變直接問題ニ關係ガナイヤ

ウデ恐縮デアリマスガ、實ハ内務大臣ニオ

出デラ願ツテ、内務大臣ニ御尋ラスレバ兩方

關聯シテ居リマスルガ、地方局長ト警保局長

ノ二人ニナリマスト、何カ關係ガ間接的ニ

ナルカト存ジマス、問題ハ中部地方デ、名古

屋ヲ中心トスル地方ニ於キマシテ、亞米利加

ニ於ケル註文ノ取消或ヘ印度方面ニ於ケル

註文ノ取消ト云フヤウナコトカラ、製陶關係

ノ從業員ガ非常ニ困ツテ居ルノデアリマス、

ソレデ先程地方局長ニモ、斯ウ云フ地方ニ對

シテハ一體交付金ノ場合ニドウ云フ御考ガ

アルカト云フ御尋ラシタヤウナ譯デアッタ

ノデアリマスガ、非常ニ困ツテ居ルノデアリ

マス、困ツテ一時間十錢以上ヲ取ルヤウナ

者ハ半額ニスル、或ヘ轉職ラスル者デモ働

キ盛リノ者ガ他ニ職ラ求メレバ一圓五十錢

或ヘ二十五六歲ノ者デ一圓三十錢、是レ位

ノ賃銀シカ貰ヘナイ、轉職スルコトモ容易

ニ出來ヌト云フウナコトデ非常ニ困ツテ居

ルノデアリマス、困ツテ其間ニ不安ナ氣持ガ

相當起ツテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウ

ナ場合ニ、地方ニ於キマシテハ、ドウシテ

モ之ヲ何カノ形デ救濟ラシア戴カナケレバ

ナラナイト云フ關係ニナッテ居ルノデアリ

マス、サウ云フ譯デ可ナリ其方面ノ從業者ノ間ニ不安ナ空氣ガアルノデアリマスガ、吾々ノ方トシテヘ、ソレヲ出來ル限り抑ヘテ居ルヤウナ狀態ナンデアリマス、所ガ最近岐阜縣ノ關係ニ於キマシテ、警察部ノ方カラノ關係デ色々團體ヲ作リマシテ、特ニ社會大眾黨ノ支部ガ解散ヲスルト云フヤウナ工合ニ之ヲ仕向ケテ、サウシテ警察部長ノ談話トシテ、斯ウ云フモノガナクナッタノデ、相剋摩擦ガ減ズルト云フヤウナコトヲ新聞ニ御發表ニナックタト云フコトガ報告サレテ居ルノデアリマス、私共ハ是ハ非常ナ問題デアラウト思フノデアリマシテ、現下ノ時局ニ際シマシテ、各方面ニ地方的ナ凹凸ガ出來テ居ルト云フコトハ、内務省モ始終御認メニナツテ居ルコトデアリマシテ、其凹凸ノ結果トシテ一番困ツテ居ルノハ何カト申シマスレバ、例ヘテ言フナラバ京都ニ於ケル西陣ノ友染工デアリマス、或ハ桐生ニ於ケル織物從業者デアルトカ、愛知縣岐阜縣ヲ中心ニスル地方ニ於ケル製陶勞働ニ關係ヲシテ居リマスル從業者ノ困ツテ居ルト云フ實情モ、ソレニ何等變リガナノイノデアリマスガ、其不安ナ氣持ヲ寧ロ吾々ト致シマシテハ出來ル限り之ヲ抑ヘテ居ルヤウナ狀態ニアリマスル時ニ、恰モ國內ノ相

ノ間ニ不安全ナ空氣ガアルノデアリマスガ、吾々ノ方トシテヘ、ソレヲ出來ル限り抑ヘテ居ルヤウナ狀態ナンデアリマス、所ガ最近岐阜縣ノ關係ニ於キマシテ、警察部ノ方カラノ關係デ色々團體ヲ作リマシテ、特ニ社會大眾黨ノ支部ガ解散ヲスルト云フヤウナ工合ニ之ヲ仕向ケテ、サウシテ警察部長ノ談話トシテ、斯ウ云フモノガナクナッタノデ、相剋摩擦ガ減ズルト云フヤウナコトヲ新聞ニ御發表ニナックタト云フコトガ報告サレテ居ルノデアリマス、私共ハ是ハ非常ナ問題デアラウト思フノデアリマシテ、現下ノ時局ニ際シマシテ、各方面ニ地方的ナ凹凸ガ出來テ居ルト云フコトハ、内務省モ始終御認メニナツテ居ルコトデアリマシテ、其凹凸ノ結果トシテ一番困ツテ居ルノハ何カト申シマスレバ、例ヘテ言フナラバ京都ニ於ケル西陣ノ友染工デアリマス、或ハ桐生ニ於ケル織物從業者デアルトカ、愛知縣岐阜縣ヲ中心ニスル地方ニ於ケル製陶勞働ニ關係ヲシテ居リマスル從業者ノ困ツテ居ルト云フ實情モ、ソレニ何等變リガナノイノデアリマスガ、其不安ナ氣持ヲ寧ロ吾々ト致シマシテハ出來ル限り之ヲ抑ヘテ居ルヤウナ狀態ニアリマスル時ニ、恰モ國內ノ相

剋摩擦ヲ減ズルト云フヤウナコトノ爲ニ、色々ナ警察部ヲ中心ニシテノ問題ガ起ルト云フコトハ、私ハ非常ニ面白クナイコトダト思フノデアリマス、出來レバ内務大臣ニト思フノデアリマス、此點ドウゾ御諒承願ヒマス内務大臣ニモ現在ノ地方々々ニ事變ノ爲ニ起ツテ居ル實情ニ付テ、十分理解ヲ深メテ戴キタイト思ツタノデアリマスルガ、不幸ニ致シマシテ内務大臣ノ御出席ガナク、地方局長ト警保局長ノ御出席デアリマスノデ、問題ガ聊カ地方負擔ノ均衡ノ問題ト離レタヤウナ結果ニナツテ、他ノ委員諸君ニハ非常ニ恐縮デアリマスガ、此點ニ付テ警保局長カラ御答辯ヲ願フコトヲ許シテ戴キタイト存ズルノデアリマス

○富田委員 岐阜縣ノ問題ニ付キマシテ重複大臣ヲ願シテ、内務大臣ノ御考慮ヲ願ヒ、御出席ヲ願シテ、内務大臣ノ御考慮ヲ願ヒ、内務大臣ニモ現在ノ地方々々ニ事變ノ爲ニ起ツテ居ル實情ニ付テ、十分理解ヲ深メテ戴キタイト思ツタノデアリマスルガ、不幸ニ致シマシテ内務大臣ノ御出席ガナク、地方局長ト警保局長ノ御出席デアリマスノデ、問題ガ聊カ地方負擔ノ均衡ノ問題ト離レタヤウナ結果ニナツテ、他ノ委員諸君ニハ非常ニ恐縮デアリマスガ、此點ニ付テ警保局長カラ御答辯ヲ願フコトヲ許シテ戴キタイト存ズルノデアリマス

○富田政府委員 御答致シマス、岐阜縣ノ問題ニ付キマシテ重複大臣ヲ願シテ、内務大臣ノ御考慮ヲ願ヒ、御出席ヲ願シテ、内務大臣ノ御考慮ヲ願ヒ、内務大臣ニモ現在ノ地方々々ニ事變ノ爲ニ起ツテ居ル實情ニ付テ、十分理解ヲ深メテ戴キタイト思ツタノデアリマスルガ、不幸ニ致シマシテ内務大臣ノ御出席ガナク、地方局長ト警保局長ノ御出席デアリマスノデ、問題ガ聊カ地方負擔ノ均衡ノ問題ト離レタヤウナ結果ニナツテ、他ノ委員諸君ニハ非常ニ恐縮デアリマスガ、此點ニ付テ警保局長カラ御答辯ヲ願フコトヲ許シテ戴キタイト存ズルノデアリマス

○富田政府委員 私カラ御答致シマス、只今ノ御尋ハ、私ニ對スル御尋トシテハ、何カ警察當局ニ於キマシテ社會大眾黨ニ付テ特別ナ考ヲ以チマシテ色々工作ヲヤッテ居ルヤウナコトガアリハセヌカ、斯ウ云フ御尋ダツタヤウニ拜承シタノデアリマスガ、サウ解シテ宜シウゴザイマスカ

○河野委員 重ネテモウ一點承リタイト思

○富田政府委員 結構デゴザイマス

○河野委員 重ネテモウ一點承リタイト思

○高橋委員長 西村君ニ一寸モウ一度御語

リシマスガ、マダ地方局長ヲ抑留シテ居ルヤウナ譯デアリマスカラ、其方ヲ解放スルコトニ一ツ御協力ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデ他ニ質問者ガアリマスカラ、地方局長ノ分ダケ暫時引離シテ保留サレンコトヲ希望致シマス

○西村委員 一口申シテ結論シテ置キマス、先程質問致シマシタ第十三條ノ但書ノコトニ對シテハ、私立學校ガ丁度同ジ精神、同ジ性質ノ目論見ヲ致シテ居リ、其精神ガ相一致スルガタメ、之ヲ準用サレルナラバ、

徇ニ教育上仕合セデアルト思フノデ、當局ノ御考慮ヲ顧ヒタイト云フコトヲ申シテ結ンデ置キマス、第二段ノ質問ニ付テハ、茲ニ結論トシテ帳簿ガ正確デアレバ、其形式ノ如何ニ拘ラズ、減價銷却等ヲ爲ス上ニ於テ個人モ法人モソコニ區別ハシナイ、又減價銷却ニ付テハ、新舊施設共ニ其標準サヘ明デアレバ共ニ之ヲ承認スルトノ御言明ヲ得タノデアル、即チ吾々ハ此事ヲ明ニ知リ得タノデアリマス、サテコヽマデ進メバ次ニ其減價銷却標準ガ問題ニナル、此標準ハ宜クナイ、此標準ハ惡イト官邊ガヤカマシク申セバ遂ニ實行ガ出來ナクナルノデアリマスカラ、適當ナル評價標準ニ減價標準ヲ、地方官憲ニ本省ノ方カラ出來ルダケ早ク御

示シヲ願ヒタイ、左様ニシテ下サルカドウ

カ、質疑應答ノ結果折角コヽ迄官民相通ズル途ガ開ケタノダカラ、實行サレズシテ終ルヤウナコトガアッテハ宜クナイト考ヘマスガ

爲ニ、敢テ一言ヲ添ヘテ置クノデアリマス

○大矢政府委員 大體今御述ニナッタ趣旨

デ宜カラウト存ジマス、唯舊クカラ持ッテ居ル建物、機械、器具等ニ付キマシテハ、

取得ノ時期、ソレカラ何年經テ居ルカト云フヤウナコトモ或ル程度明確ニナラナイト

今後ノ銷却年限ヲ見ル場合ニモ相當困難ナ點ガアルカト存ジマス、是ハソレヲ口實ニ致シマシテ個人ノ減價銷却ノコトヲ否定

スル積リデハアリマセヌガ、サウ云フ事ガアルト云フコトヲ御諒承願ヒタイト存ジマス

○高橋委員長 馬場君ニ申上ゲテ置キマスガ、先程カラ申上ゲル通り、地方局長ガ他ノ委員會ニ出席ヲ急ガレテ居リマスカラ、其方ヲ先ニ御進メアランコトヲ希望致シマス

○馬場委員 私ハ二三點簡單ニ御伺致シマス、昨日委員長カラノ御尋ニ對シテ、大藏大臣カラ財政補給金三千万圓増額ノ件ヲ言明サレタノデアリマス、此三千万圓ニ依リテ地方ニ通牒ヲ出ス迄モナク、從來則シテ居ル所ノ基準ニ依ツテヤッテ行クベキデアルト考ヘテ居リマス

○西村委員 能ク分リマシタ、但シ大體御述ベニナツタト同ジヤウダト言ヘレタガ、大體ナドト云フ言葉ハ御省キニナッテ戴キタル減收、斯ウ云フモノノ補填ニ充テラレルコトニナルモノデアルト思フノデアリマス、大體此地方財政補給金——馬場大藏大臣ニ關シマシテ、全國町村長會デ昭和九年度ノ豫算ノ實收ヲ、委任事務ト固有事務トニ分テ算出致シテ居リマス、勿論是トテモ先程申シマス通り正確ニ計算スルコトハ、事實ニ於テ不可能デアリマセウ、極ク達觀

云フコトデアッタナラバ、ソレデ宜シイ、ソ

ニ分チ、其委任事務ニ要スベキ經費ニ相當スル額ヲ地方ニ交付スルト云フ立前ヲ採リマスコトガ本筋デアラウト、斯様ニ思フノ御尋ガアリマスルト、地方局長ハソレハ理

論上ハ分ツコトガ出來ルカモ知レスガ、事實ニ於テハ分ケテ計算スルコトハ困難ダ、

ニ願ツテ置キマス、私ハ是デ宜シウゴザイマス

宜シイ、但シドウカ標準ナドモ親切ニ示シテ、法人ト同様ニ銷却ノ實行ガサレルヤウ

ルガ、ソレハ古イダケ値引スレバ宜イ、古イカラ減價銷却ガ出來ナイ譯ガナイノデアリマス、故ニ此邊ハ然ルベク御評價ニナッテ

スル積密ニ算出ヲスルト云フコトハ困難デアルカモ知レマセヌ、殊ニ役場費トカ、豫備費トカ云フ費目ニ於テハ、ソレガ委任事務デアルカ、固有事務デアルカ、ドチラノ方ニ幾ラ使ハレタカト云フコトヲ算出スルコトハ困難デアルト思ヒマスガ、サウ云ツタ意味デ精密ニ計算スルコトハ困難デアリマセウケレドモ、極ク概略ノ算出ヲスルト云フコトハ敢テ不可能デハナイト思ツタノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニル減收、斯ウ云フモノノ補填ニ充テラレルコトニナルモノデアルト思フノデアリマス、

現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

バヽ地方町村事務ヲ固有事務ト委任事務ト

ニ分チ、其委任事務ニ要スベキ經費ニ相當スル額ヲ地方ニ交付スルト云フ立前ヲ採リマスコトガ本筋デアラウト、斯様ニ思フノ御尋ガアリマスルト、地方局長ハソレハ理

論上ハ分ツコトガ出來ルカモ知レスガ、事實ニ於テハ分ケテ計算スルコトハ困難ダ、

ニ願ツテ置キマス、私ハ是デ宜シウゴザイマス

宜シイ、但シドウカ標準ナドモ親切ニ示シテ、法人ト同様ニ銷却ノ實行ガサレルヤウ

ルガ、ソレハ古イダケ値引スレバ宜イ、古イカラ減價銷却ガ出來ナイ譯ガナイノデアリマス、故ニ此邊ハ然ルベク御評價ニナッテ

スル積密ニ算出ヲスルト云フコトハ困難デアルカモ知レマセヌ、殊ニ役場費トカ云フ費目ニ於テハ、ソレガ委任事務デアルカ、固有事務デアルカ、ドチラノ方ニ幾ラ使ハレタカト云フコトヲ算出スルコトハ困難デアルト思ヒマスガ、サウ云ツタ意味デ精密ニ計算スルコトハ困難デアリマセウケレドモ、極ク概略ノ算出ヲスルト云フコトハ敢テ不可能デハナイト思ツタノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

ノデアリマス、現ニ京都府ノ某ト云フ村ニ

的ニ、概略的ニ算出ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレニ依リマスト、委任事務ノ費用ガ歲出全體ノ約八割六分、固有事務費ガ一割四分ニ過ぎナ、斯ウ云フヤウナ驚クベキ数字ガ出テ居ルノデアリマス、尤モ大キナ都市ニナリマスト、段々固有事務ノ方ノ經費ガ比較的多クナルト云フヤウナ数字ガ出テ居ルヤウデアリマス、地方ノ町村ニ於キマシテハ大體斯ウ云ツタ率デアルノデハナイカ、之ヲ以テ全國ノ町村全體ヲ推算スル譯ニハ參リマスマイガ、大體斯ウシタ推算ヲスルコトガ出來ルト、斯様ニ考ヘラレルノデアリマス、大藏大臣ガ此點ニ對スル御答辯ヲナサイマシタ時ニ於テモ、計算ガ出來レルケレドモ、事實ニ於テ不可能デアルト云フヤウナ御意見モアツカノヤウニ記憶シテ居リマス、速記録ニモサウ云フヤウニアルヤウニ記憶シテ居リマス、併シ内務省ニ於テハ此委任事務ノ費用、固有事務ノ費用、極ク概略的ニデモ差支アリマセヌガ、斯ウ云フモノヲ御調査ニナッテ、サウシテ將來ノ税制改革等ニ對スル参考資料ト云フモノニナサル御意思ガアルカドウカラ伺ヒタインデアリマス、更ニ三千万圓ノ交付ノ問題デアリマスガ、先程河野君カラ御尋ガア

リマシタガ、是カラ委員會等ニ掛ケテ慎重ニ研究スルト云フ御話ヲ承ツテ居リマス、就キマシテハ昭和十二年七月二十九日内務省告示四百七十三號ト云フアノ規定デハ、色々ナ不公平ガ起リ、甲ノ町村ト乙ノ町村トノ間ニ、色々ナ不均衡ガ起ルノデハナイカト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、此規定ハ此儘デ御適用ニナルノデアリマスカ、或ハ更ニ必要ニ應ジテ、實情ニ即シタル改正ヲナサルノデアリマスカ、此二點ヲ御伺致シマス

補給金ト同様ニ、專ラ過重ナル負擔ヲ輕減スル、或ハ又今回ノ戰時事變等ニ付キマシテ、特別ノ經費ヲ要スルト云フヤウナ事情ヲ考慮セラレテ居ルト思フノデアリマスガ委任事務ト固有事務ノ區別ト關聯致シマシテ、委任事務費ニ充テルト云フヤウナ意味ニナッテ居ルノデアリマシテ、此區別ト補給金ト關聯致シマシテ、只今正確ニ御返事ヲ申上ゲルコトハ非常ニ困難ヲ感ジマスノデ、御諒承ヲ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ第二點ノ内務省ノ命令ノ、配分方法ヲ變更スルカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ屢々申上ゲマシタヤウニ、大體今年度ハ昨年度ニ於テ、一度経験ヲ得テ居ル譯デアリマスケレドモ、色々御意見モアリマセウシ、將來ニ於テモ御注意ヲ受ケルコトモアリマセウ、隨ヒマシテソレ等ノモノハ十分考慮致シマシテ、委員會等ニモ御諮リ致シマシテ之ヲ決定シタイ、斯ウ云フ氣持デアリマスカラサウ云フコトニ依リマシテ配分方法ヲ變更セラレバ、自ラ省令ハ當然變更スル積リデゴザイマス

ヲシタ積リデハナイノデアリマス、今地方局長ノ御話ノ通り、税制整理ニ依ル收入ノ缺陷デアルトカ、賃貸價格ノ改訂ニ依ル減收、サウ云フモノヲ補給スルト云フノガ、大體今回ノ三千万圓増額ノ趣旨デアラウ、斯様ニ私ハ考ヘテ居リマス、私ノ申上ゲタノハ私共ノ考カラ致シマスト、今政府ノヤツテオ居ニナルヤウナ、地方財政ノ缺陷ガアルカラソレヲ補填スルノダト云フ立前デナシニ、元來補給金ハ、町村ガ國家ニ代ッテ行政事務ヲ行ッテ居ル、委任事務ノ費用ヲ國家ガ賄ツテ行クト云フコトガ本筋デアル

リマス、今度ノ増稅ハ時局ガ斯様ナ時局デ
アリマスノデ、國民全部覺悟致シテ居ッタ
所デアリマス、唯問題ハ其增稅ガドウ云フ
階級、ドウ云フ「クラス」ニ課ケラレテ行ク
カ、負擔ノ衡平、犠牲均等ト云フコトガ行
ハレテ居ルカト云フコトガ一番問題デアラ
ウ、斯様ニ思フノデアリマス、屢々問題トナ
リマシタ所ノ稅制ノ根本的改革、是ハ私共
ハ是非一つ今日ニデモヤッテ戴キタイト思フ
ノデアリマスガ、大藏大臣ハ數次ニ瓦ツテ、
機會アル毎ニ、今ハヤレナイト云フコトヲ
仰セニナルノデアリマシテ、是ハ私共沟ニ
遺憾ニ存ズルノデアリマス、今度ノ增稅ヲ
一貫シテ考ヘテ見マスト、ドウモ中產階級
ガ割合ニ重イ負擔ヲ受ケナケレバナラヌ譯
デハナイカト考ヘラレルノデアリマス、尤
モ所謂賀屋財政、賀屋增稅ヲ見マスルト、
三億圓ノ増稅ノ中デ、大眾課稅トナル虞ノ
アル消費課稅ト云フモノガ一億圓以下ニナッ
テ居ル、直接稅ガ二億圓餘リ、其比率ハ二
對一ニナツテ居ル、消費稅ノ方面デモ、物品
稅デアルトカ、又通行稅ト云フヤウナモノ
ヲ計畫サレル場合ニ於テハ、大眾課稅ハ成
ベク回避シヨウト云フ努力ガ見ラレルノデ
アリマシテ、左様ナ努力ノ跡ヲ見ルコトハ

ドモ、更ニ考へマスルト此稅制ノ中デ一番
遺憾ヲ感ジマシタノハ、第三種所得稅ノ免
稅點引下デゴザイマス、免稅點ノ引下ニ依ツ
テ、人員ニシテ約五千万人、稅額ニ於キマ
シテ四百万圓ト云フモノガ出デ居ルノデア
リマス、而モ四百万圓位ノ稅收ヲ得ル爲ニ
五十万人ノ人ニ相當ノ打擊ヲ被ラシムル、
是ハ時局柄已ムヲ得ナイデハナイカト云フ
見方モアルカモ知レマセヌガ、私ハ三億圓
位ノ增稅ヲスルト云フ場合ニ、是ダケノ範
圍ヲ擴メルコトヘドウデアラウカ、將來モッ
トモット時局ガ進展ヲシテ、更ニ大增稅ヲヤ
ラナケレバナラヌト云フ時デアルナラバ率
ザ知ラズデアリマス、今日ノ場合ニ、此程
度ノ增稅ニモ中堅層ヲ狙フト云フコトハ可
ナリ苦シイノデハナイカ、砂糖消費稅デア
ルトカ、或ハ物品稅ノ擴張デアルトカ、煙
草ヤ酒ノ値上ニ依リマシテ、此階級ハサナ
キダニ相當ノ大ナル負擔ニナッテ居ルト考
ヘルノデアリマス、昨日モ勝サンノ御意見
デアリマシタカ、料理稅ヲ取ッテハドウダト
云フヤウナ御意見ガアッタヤウデアリマス、
政府委員カラハソレハ徵稅技術ノ上ニ於テ
事實上困難ダト云フ御話ガアッタヤウデア
リマス、政府ニ於テモ今度ノ立案ヲナサル
場合ニ、新築稅デアルトカ、或ハ料理稅デ

アルトカ云フ大體ノ計畫ガアツサウデス
ガ、到頭ソレハ實現シナクテ此處ニ現レテ
居リマセヌガ、左様ナモノガ若シ徵稅技術
ノ上デ面白クナイト云フコトデアリマスナ
ラバ、四百万圓位ノ稅收ヲ得ル途ハ私ハ他
ニモアルデハナイカ、例ヘテ見マスレバ蓄
妾稅ト云フヤウナモノヲ(笑聲)考慮ナサルコ
トガ面白い方法デハアルマイカ、是ハ私ハ
極メテ眞面目ニ考ヘテ戴キタイト思ヒマス、
今日八十圓カ八十五六圓位取ル月給取ガ、
所謂免稅點千圓ノ線ニ居ルノデアリマシテ、
ソレ等ハ直接國稅ヲ納メナケレバナラヌ、妾
ヲ蓄ヘル位ノ者ハ擔稅力ガアルト云フコト
ガ本當ノ見方デアルト思ヒマス、是ハ或ハ
徵稅技術ノ上カラ、妾トヘ何ゾヤト云フ
定義ノ問題ヤ何カアッタリシテ、色々ナコトデ
厄介デアルカモ知レマセヌガ、是ハ認定デ
ドンヽ行ケルト思フ、不服ノ者ハ訴願ヲ
スペシ、行政訴訟ヲヤルベシ、サウ云フ事
革スル上ニ於テモ意義ガアルノデハナイカ、
マシタラ恐ラク三億五千万圓、四億圓ニナ
リマセウ、私ハ此計畫ヨリモ、多クナルト

三、免稅點ヲ殊更ニ引下ゲテ此層ヲ狙フト
云フコトハ、何トカシテ御止メヲ願ヒタイ、
斯様ニ考ヘルノデアリマス、此點ニ對スル
大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス
○賀屋國務大臣 御答申上ゲマスガ、其前
ニ地方ノ自治團體ノ經費ニ付キマシテ、固有
事務ト委任事務ニ付テ、私ノ前ニ致シマシタ
答辯ニ付キマシテ御話ガアリマシタガ、私ノ
申上ゲマシタ趣旨ガ、只今御話ノ點ト異ッテ
居ルヤウデアリマス、其點ヲ先ツ申上ゲタイノ
デアリマス、私ハ固有事務ハ地方自治團體ノ
分ノ財源デ支辨ベシ、委任事務ハ國ノ委任
デアルカラ國カラ財源ヲ補給致シテヤルノガ
當リ前デアルト云フ御説ヘ、一應御尤ト思フ
ノデアリマス、併ナガラ此説ガ成立チマス
爲ニハ、國ノ財源ト法制上ナッテ居リマスモ
ノト、地方財源ト法制上ナッテ居リマスモノ
ガ、其各々ノ國、府縣、市町村ノ固有事務
ヲ支辨スルノニ適當デアルト云フ、其考ノ
下ニ制度ガ立ツテ居ルト云フ場合ニハ、御説
ノ通リニナルト思フノデアリマス、又或ハ
サウ云フ風ニ固有財源ガ國及ビ地方團體
ニ配ラレテ居ルモノダト云フ説ニ對シテモ、
私ハ理論トシテハ一應同感スルノデアリマ
ス、併ナガラ現在ノ日本ノ財源ノ配分ハ、
左様ナコトハ顧慮サレズニ出來テ居リマス、

サウ云フコトヲ考ヘマシテ、地方ハドノ位ノ經費ガ要ル、國ハドノ位ノ經費ガ要ル、ソレニ應ズルヤウニ財源ノ配分ヲ致ス、地租ハ國デ取ル、附加稅ハドウスルト云フ制度ニ出來テ居リマセヌ爲ニ、只今ノ狀況デハソコガ不確カデアリマスカラ、固有事務ハ地方ノ財源デ支辨スルガ、委任事務ハ國カラ補給スベント云フ前提ニ不確カナ所ガアリマスト、サウ云フ風ニ參リニクイト思フノデアリマス、是等ハ固有事務、委任事務ノ區分ガ明瞭ニナリ、ソレニ依ッテ要スル經費ガ明瞭ニナリマシタ場合ハ、寧ロ稅制ノ基本ガソレヲ斟酌スベント云フ理論ニハ、一應私ハ御同感ヲ表スルノデアリマスガ、現狀ニ於テ委任事務ニ要スル經費ガ區分サレマシテモ、ソレヲ國カラ補給スルト云フニハ、根本ノ事實ガツマダ不確實ナ所ガアルト云フコトヲ申上ゲル次第アリマス、其點ヲ御考顧ヒタイト思ヒマス、只今ハ地方ノ都市等ニ於キマシテ、假ニ今ノ財源ノ配分ガ固有事務ニ付テ適正ナリト致シマスレバ、都市等ハ負擔ノ餘裕ガ綽々トシテ餘アルト云フヤウナ實情デハナイカト思ヒマス、是等ハ寧ロ其點ニモ再検討ノ必要ガアルデアラウト考ヘテ居リマシテ、只今ノ臨時ノ交付金トシテハ其方針ヲ、計算ガ出

來マセヌニモ拘ラズ一應取ルノニハ、立法ノ技術ガマダ足リナイ、斯ウ考ヘテ居リマス、是ハ先程御話ガアリマシタカラ、一應申上ゲルニ止メル次第デアリマス
ソレカラ後ノ御質問デアリマスガ、是ハ中產階級ニ相當重イト云フ御話デアリマス、率直ニ申上ゲマシテ、外ニモ色々御説ガアリマシタヤウニ、是ハ所得ノ多イ階級カラ見テモノ中々重イノデアリマス、又中產階級カラ見バ重イシ、大衆カラ見レバ——大衆ト云フモノヲ其所得ガ中產階級以下ト見テデアリマスガ、成ベク此負擔ハ避ケタノデアリマスガ、ソレニモヤハリ負擔ガ掛ッテ來ル場合ガ相當アル、何レカラ見マシテモ私ハ其立場デ御覽ニナレバ、相當負擔ハ重イト思フノデアリマス、併ナガラソレガ今ハ已ムヲ得ナイ事情ニアルノデアリマス、一面カラ御覽ニナレバ、四十万人ノ納稅者ガアツテ、ソレガ四百万圓シカ納稅ガ出來ナイト云フコトガ、如何ニ日本ノ各方面ガ相應ノ負擔ヲシナケレバ相當ノ財源ガ出來ナイカト云フコトヲ、如實ニ現ハシテ居ルモノデアラウト思フ、ソレガ負擔ヲ免レルト云フコトニナレバ、外ノ多額ノ所得者カラ見マスレバ、サウ云フモノヲ皆被ッテ行カナケレバナラヌト云フ均衡論ニナリマスト、是ハ骨ノ

位ノ國民ノ負擔ガ増シマシタ際ニハ、其脣ニ位スル方ニハ氣ノ毒デアリマスルガ、若ナイン、所得ノ段階毎ニ切リヲ附ケマスト、或段階デソコニ一ツノ上下ノ負擔ノ切レ目ガ出來マシテ、一方ハ上ル次第デアリマス、是モ技術上ドウシテモ已ムヲ得ナイ所デアリマス、私共ノ考デハ、此時局ニ當リ此負擔ノ程度ナラバ輕微ナルガ故ニ——御話ノ如クサウ云フ收入ノ所デアリマスカラ、増額モ四百万圓ニ止マルガ如キ程度ニ止メル案ニスルノハ已ムヲ得ス、寧ロ斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、何卒御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、蓄委稅ノ如キハ、私ハ趣旨ニ於キマシテハ御同感デアリマスガ、御話ガアリマシタヤウニ、徵稅ノ技術トシテハ中々實行困難デアリマス、之ヲ實行シヨウト思ヘバ各種ノ紛争、迷惑、場合ニ依リマシテハ、人ノ信用ヲ傷ツケルヤウナ場合モ起ル譯デアリマス、是ハ其様ナ點カラ考ヘマスルト、只今實行ヲ致ス譯ニハドウモ參ルマイト考ヘルノデアリマス

料、是モ十二万圓御取リニナル、楊子デ重箱ノ隅ヲ漁ルヤウナ、言葉ハ惡イカモ知レマセヌガ、非常ニ吝ナヤリ方ガアルノデハナイカ、斯様ニ思フノデアリマス、四百万圓位ノモノヲ御取リニナラヌデモ、實際ノ收入ハ三億圓以上此免稅點ヲ引下ゲズシテモアルノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、之ニ付テハ更ニ申上ゲルコトヲ止メタイト思ヒマス

次ニ徵稅ノ實際ニ付テ御伺ヲ致シタイノデアリマス、是ハ本會議デモ一寸申上ゲタノデアリマスガ、私ハ脫稅ト云フモノハ相當廣イ範圍ニ事實行ハレテ居ルノダト斯様ニ考ヘマス、是ハモウ徵兵忌避ト同ジコトデ、脫稅シタト云フコトガハッキリ分ッタナラバ、私ハ嚴重ニ臨シデ貰ヒタイ、斯様ニ考ヘマス、特ニ大所得者ガ帳簿ヲ二重三重ニ作ツテ脫稅ヲ圖ルト云フコトハ、屢々私共ハ耳ニ致シマス、左様ナ場合ニハ思切ツテヤツテ貰ハナケレバナラヌ、國民ガ血ヲ流シテ居ル時ニ、故ラニ脫稅ヲ圖ル、是ダケハツク是非徹底のニヤツテ貰ヒタイト思ヒマス、ソレト同時ニ其半面ニ於テ特別ニ御考慮ヲ賜リタイト思ヒマスコトハ、納稅ノ實

○馬場委員

補給金ノ問題ニ關シマシテハ、

折レルコトデアルト思フノデアリマス、此位ノ國民ノ負擔ガ増シマシタ際ニハ、其層ニ位スル方ニヘ氣ノ毒デアリマスルガ、若干ノ負擔ハ是ハ是非シテ貰ハナケレバナラナイ、所得ノ段階毎ニ切リヲ附ケマスト、或段階デソコニ一ツノ上下ノ負擔ノ切レ目ガ出來マシテ、一方ハ上ル次第デアリマス、是モ技術上ドウシテモ已ムヲ得ナイ所デアリマス、私共ノ考デハ、此時局ニ當リ此負擔ノ程度ナラバ輕微ナルガ故ニ——御話ノ如クサウ云フ收入ノ所デアリマスカラ、増額モ四百万圓ニ止マルガ如キ程度ニ止メル案ニスルノハ已ムヲ得ヌ、寧ロ斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、何卒御諒承ヲ願ヒタイン思ヒマス、蓄妾稅ノ如キハ、私ハ趣旨ニ於キマシテハ御同感デアリマスガ、御話ガアリマシタヤウニ、徵稅ノ技術トシテハ中々實行困難デアリマス、之ヲ實行シヨウトル譯デアリマス、是ハ其様ナ點カラ考ヘマスルト、只今實行ヲ致ス譯ニヘドウモ參ル

料、是モ十二萬圓御取リニナル、楊子デ重箱ノ隅ヲ漁ルヤウナ、言葉ハ惡イカモ知レマセヌガ、非常ニ吝ナヤリ方ガアルノデハナイカ、斯様ニ思フノデアリマス、四百万圓位ノモノヲ御取リニナラヌデモ、實際ノ收入ハ三億圓以上此免稅點ヲ引下ゲズシテモアルノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、之ニ付テハ更ニ申上ゲルコトヲ止メタイト思ヒマス

次ニ徵稅ノ實際ニ付テ御伺ヲ致シタインデアリマス、是ハ本會議デモ一寸申上ゲタノデアリマスガ、私ハ脫稅ト云フモノハ相當廣イ範圍ニ事實行ハレテ居ルノダト斯様ニ考ヘマス、是ハモウ徵兵忌避ト同ジコトデ、脫稅シタト云フコトガハッキリ分ッタナラバ、私ハ嚴重ニ臨ンデ貰ヒタイ、斯様ニ考ヘマス、特ニ大所得者ガ帳簿ヲ二重三重ニ作ツテ脫稅ヲ圖ルト云フコトハ、屢々私共ハ耳ニ致シマス、左様ナ場合ニハ思切ツテヤツテ貰ハナケレバナラヌ、國民ガ血ヲ流シテ居ル時ニ、故ラニ脫稅ヲ圖ル、是ダケハ

務ニ當ツチ、直接民衆ニ接スル 稅務官吏ノ態度ナリ、事務ノ執リ方デアルトス様ニ考ヘマス、動モ致シマスルト、成ベク徵稅ノ職業心理トデモ申シマセウカ、一錢デモ一厘デモ出來ルダケ多クノ徵稅ヲヨウト云ヤウナコトカラ、無理ヲスルコトガヨク行ハレル、殊ニ正直ナ中小商工業者ト云フヤウナ者ニ對シマシテハ可ナリ酷ク當ル、理窟デ追詰ヌルト云フヤウナコトガ屢々實ハ見當ルノデアリマス、是ハ國民ガ政府ニ對シテ怨嗟ノ聲ヲ放ツ原因ニ相成リマスノデ、餘程慎ムベキデアラウト思ヒマス、私ノ申上ゲルノハ脫稅ハ嚴重ニ之ヲ取締ル、其半面ニ於テハ親切デアレト云フヤウナ、丁度相對立シタコトニ相成ルノデアリマス、隨テ非常ニ困難ヲ伴フノデゴザイマスケレドモ、困難ヲ伴フガ故ニコソ、尙更特別ノ御注意ヲ賜ラナケレバナラヌ、斯様ニ思フノデゴザイマス、今度ノ増稅ニ伴ヒマシテ稅務官吏ヲ增加ナサルサウデアリマステ、其經費モ慥カ二百五十万圓デスカ、御見積リノヤウデアリマス、以上申シマシタ所ス様ニ思ヒマス、此點ニ對シテ御心構ヘラ

◎黑塔參員

○賀屋國務大臣 徵稅ニ關シマシテノ只今
ノ御考ハ私ノ全然御同感ヲ致ス所デアリマ
ス、脱稅ナク、又苛斂誅求ヲ致スコトナク、
ルヤウニ徵稅致ス、是ハ御話ノ如ク相對立
シタヤウナ觀念デハアリマスガ、世間ノコ
トハ、私ハ總テサウ云フ風ニ、一見一方カ
ラ參リマスレバ行過ギル所ヲ或ル程度ニ止
メル、兩者ノ調和ト云フ所ニ一番良イ所ガ
アルト思ツテ居リマス、徒ラニ妥協苟合デナ
ク、道理ノ命ズル所ニ進ンデ、其限度ニ止
マルト云フコトガ最モ必要ナル點デアリマ
ス、是ハ全ク御同感デアリマス、稅務官吏
モ中々薄給ニ甘ンジテ勉強ヲ致シテ居リマ
ス、其勉強ノ結果、或ハ苛斂誅求ニ走ルコ
トガアリマシテ、近頃ハ脱稅ヲ見逃スヤウ
ナコトハ中々ナインデアリマス、非常ニ多
數ノ者デアリマスカラ、場合ニ依ツテ其例外
ガナイトハ申セマセヌガ、其邊ノ心構ヘハ
進ンデ來テ居リマス、御話ノ如キコトニ付
テハ、此上ニモ十分ニ注意ヲ致シテ參リタ
イ、斯様ニ存ジマス

○馬場委員 消費、節約ノ問題ニ付テ御尋ラ
シタイト思ヒマス、政府ハ今一生懸命ニナッ
テ消費節約ノ宣傳ヲシテオ居アニナルヤウ
デアリマス、凡ソ消費ノ方法トシテハ、個

ニ課稅ヲナサル方法モアリマセウシ、ソレ
カラ又直接ニ個人ノ購買ヲ制限スルト云フ
コトモツツノ方法デアラウト思ヒマス、現
ニ政府ハサウ云フコトヲヤッテオ居デ
ル、例ヘバ銅使用制限規則、白金ノ使用制
限、鐵鋼ノ使用制限規則トカ云フヤウナモ
ノガ之ニ當嵌ル、斯様ニ思フノデアリマス、
私ノ御尋申上ゲヨウト思ヒマスコトハ、今
一つノ方法、宣傳ニ付テデアリマス、國民
ニ對シテ最近消費節約ヲ御說キニナルノデ
アリマスガ、先般同僚議員ノ質問ニ對シテ、
大藏大臣ハ、直接間接ニ此時局ノ爲ニ必要
ナ物資ノ供給増加ニナル消費ノ節約ハ徹底
ニヤルベシ、斯ウ云フコトヲ一つノ方針
トシテヤツテ居ル、斯ウ云フ答辯ニ相成ツテ
居ルノデアリマシテ、洵ニ其通りデナケレ
バナラヌト思フノデアリマス、所ガ是ハ抽象
的ノ議論デアシテ、誰デモ國民トシテ此理
窟ハ分リマスケレドモ、然ラバ具體的ニド
ウ云フ物ヲ節約スレバ宜イカト云フコトニ
ナリマスト、國民全體ガ之ヲ承知致ス譯ニ
ハ中々參ルマイト思ヒマス、國民精神總動
員ノ「パンフレット」デアリマシタカニハ、自
金製品デアルトカ、「ゴム」製品デアルトカ云
浴衣デアルトカ、金側ノ時計デアルトカ、

リマスガ、ア、シタ物デハ一般的ニ、普遍的ニマダ徹底ハ致スマイ、斯様ニ思フノ例ヘバ米デアルトカ、魚デアルトカ云フヤウナモノ無暗ニ消費節約ヲヤルト云フコトニナリマスレバ、其影響ヘ農村ニモ及ブデアリマセウシ、又酒ヤ煙草ヲ極端ニ節約スルト云フコトニナリマスレバ、政府ノ狙ツテ居ル増税トカ、稅收入ト云フコトモ見込ガ取レナクナル、斯様ニ思フノデアリマス

〔東條委員長代理退席、委員長著席〕

ソコデ政府ハ具體的ニ斯ウ云フ品物ハ節約シロ、コンナ品物ハ節約シナクテモ宜イノダト云フコトヲ、本當ニ國民ノ臺所ニ、家庭ニ直接ニ分ルヤウナ何等カノ具體的ナ方法ヲ御執リニナルコトガ必要ダト思ヒマス、國民ハ政府ノ意ヲ體シテ節約シヨウト思ッテモ、具體的ニ何ヲ節約シテ宜イノカ徹底ヲ致シテ居ナイヤウニ思ヒマスカラ、其具體的ノ方法ヲ何カ御考ニナリ、之ヲ實行ナル御考ガアルカドウカラ御伺致シテ見タル御考ガアルカドウカラ御伺致シテ見タ

マス、大藏省ト商工省ト相談致シマシテ、
色々「リーフレット」様ノモノニシテ、家庭ニ
於テソレヲ貼付致シテ置キマシテ、國民精
神總動員ノ方カラ地方廳ニ相當徹底スルヤ
ウニ原案ヲ作リマシテ廻シテ居ル譯デアリ
マス、併ナガラソレガ十分ニ徹底致シテ居
ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、私
モ御話ノヤウニマダ徹底ヲ致サナイ部面
モアルデハナイカトモ想像致シテ居リマ
ス、是ハ尙ホ今後トモ十分ニ徹底ヲ致シ
テ、國民ニ分リ易イヤウニ、如何ナル物ハ
極力消費ヲ節約スベシ、其必要ノナイト物ハ
是々ト云フコトヲ、十分徹底致シタイト考
ヘテ居リマス、今ノ仰セニナッタ他ノ意味
ノ消費節約、詰リ所得ガ此際ニ増加致シタ
モノハ之ヲ成ベク全額ヲ貯蓄ニ廻スト云
フ、金錢ヲ直接對象ト致シマスル消費ノ節
約、是ハ公債ノ消化、產業資金ノ供給等ニ
物資ノ需要増加ニ對スル手當トシテ是ハ一
般的ニ必要デアリマス、酒ヤ煙草ト云フヤウ
ナ物モ平生ヨリ其消費ガ増加シマシテハヤ
ハリ困ル譯デアリマシテ、サウ云フ物ハ新
需要モ押ヘテアルノデアリマスカラ、ソレ

約ハ大イニ高調致シテ貯蓄ノ源泉ニシナケレバナリマセヌ、今後更ニ徹底ヲ致シタ手段ヲ執リタイ、貯蓄ノ獎勵、消費ノ節約ニ付キマシテハモット徹底シタ手段ヲ執リマシテ、十分ニ全國民ニ徹底シマシテ、撒布サレタル戰費ヲ平生ヨリ更ニ増加セル此四十億五十億ト云フモノヲ、金錢ノ方ニ於テハ貯蓄ヲ致シ、サウシテ一方物資ノ需給ノ適合ヲナス方面ハ消費節約ヲ圖リ、物價ノ騰貴ヲ押ヘルト云フコトガ、今後ノ經濟ノ政策ト申シマスルカ、實行ノ大目標トナラナケレバナラヌノデアリマス、是ハ今後力ヲ盡ス積リデゴザイマス

○馬場委員 今ノ御答辯ハ誠ニ心強ク感ズルノデアリマスガ、消費節約ノ要ヲ痛切ニ感ジマスル物ノ一ツニ紙ガアルノデアリマス、今日ハ殆ド市中ヲ見マスト紙ノ氾濫状態デアルト思フノデアリマス、ソコデ公平ニ考ヘマシテ、アレダケノ新聞、アレダケノ雑誌、中ニハ立派ナ物モアリマセウガ、随分詰ラヌ物モアル、中ニハ如何ハシイ惡徳的ナ物モ無キニシモアラズト考ヘテ居リ、例ヘバ「インチキ」賣藥ノ廣告トカ色々ナ

モノハアルト思フ、消費節約ノ見地カラ申
シマシテモヤル必要ガアルノデハナイカ、
一寸新聞デ見マスルト、企畫院デ左様ナ計
畫ガアツテ、閣議ニモ上ツタカノヤウニ私新
聞ノ記事ヲ見タヤウニモ記憶致シテ居リマ
スガ、此點ヲ御伺致シテ見タイト思ヒマス
○賀屋國務大臣 紙ノ消費節約ト云フコト
ハ極メテ必要デアリマス、是ハ主トシテ商
工省デヤツテ居リマスガ、便宜上簡單ニ申上
ゲマスレバ、包裝紙ノ節約等ニ於キマシテ
ハ、民間團體等ノ運動ナドモアリマシテ、
相當手ヲ盡シテ居ルヤウデアリマス、又新
聞ニ付キマシテハ、是ハ事實上紙ノ供給ガ
非常ニ困難デアリマスノデ、製紙業者ト申
シマスカ、紙ノ販賣業者ト申シマスカ、ソ
レ等ト各新聞社トノ協定ニ依リマシテ、昨
年モ相當貢數ノ制限ノ話ガ出來タヤウデア
リマス、尙ホ是等ニ付キマシテモ、私ハ一
層ノ節約ヲ希望致シテ居リマス、他ノ物ト
ノ權衡モアリマスシ、又是等ノモノハ文化
ノ發達上極メテ必要ナモノデアリマスカ
ラ、ソレ等ノ點モ考慮致サナケレバナリマ
セヌガ、成ベク此紙ノ供給量其他トモ關聯
ヲ致シマシテ、主務省ニ於キマシテモ、適
當ナル手段ヲ執ラウト考ヘテ居リマス

○馬場委員 純ノ問題ニ關聯シマシテ、稅ニ直接ノ關係ハアリマセヌガ、間接的ニハ非常ナル關係ヲ持ツテ居リマスノデ、此際農林當局ニ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、此紙ノ節約ト云フコト其表裏ヲ爲シマシテ、然拂ヘレナケレバナラヌモノト思フノデアリマス、是ハ紙バカリデハナイ、人絹デアルトカ、或ハ「ステープル・ファイバー」ニモ關係ガアル、輸出輸入ノ關係、國際收支ニモ非常ナ關係ガアルト思フノデアリマス、紙ヤ人絹、或ハ「ステープル・ファイバー」ト云ヅタヤウナ、木材ヲ原料トスル工業ハ、近頃非常ニ發達致シテ居ルノデアリマスガ、此新興產業ノ資材ノ自給ト云フコトハ、我國ノ資源デハ現在不可能ナ狀態デアリマシテ、山林局ノ調査ニ依ルト、昭和十一年度ノ木材「バルブ」ノ生産力八十万噸ノ中、三千万噸以上ヲ輸入ニ仰イデ居ルヤウニ承知致シテ居リマス、今度ノ事變ノ爲ニ戰時資材ノ輸入ガ激増ヲ致シテ、尋常一樣ノ手段デハ到底國際收支ノ均衡、爲替水準ノ維持ハ出來ナイ、政府ハ此點ニ對シテハ非常ナル御苦心デアツテ、大童ノ活動ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、其結果貿易管理ト云フモノガ生レテ來テ、其貿易管理ノ鉢先ガ木材

「バルブ」ト云フヤウナモノニモ向ケラレル、
棉花ハ八億圓、羊毛ハ三億圓、サウ云フヤウ
ナ方面ノモノガ輸入ノ統制ヲ受ケナケレバ
ナラヌ、ソコデ森林資源ノ擴張充實ト云フコ
トガ極メテ重大ナル問題ニナッテ來ルノデ
アリマス、政府モ此點ニ付テハ非常ニ御考
ニナッタト見ヘテ、或ハ國有林ノ利用開發ニ
關スル二十年計畫ヲヤルトカ、或ハ民有林
間伐五箇年計畫トカ、色々御計畫ノヤウデ
アリマス、ソレ等ノ計畫モ洵ニ結構デアリ
マセウガ、私ハ今日ノ木材資源ノ經營ガ旨
ク行カヌノハ、内務省デアルトカ、農林省、
云々タ地域的ニ一ツノ一貫シタル統一性
ガナイ所カラ、日本ノ山森行政ガドウモ
旨ク行カヌノデハナイカ、斯様ニ考ヘル
ノデアリマス、ソコデ此際林野行政ノ根
領土ノ國有林ヲ舉ゲテ、一ツノ機關ニ、
例へバ森林院トデモ申シマスカ、内閣
直屬ノ一ツノ機關ヲ御作リニナッテ、ソレデ
統一シテ植林モヤレバ伐採モヤル、其他ノ
森林ノ經營ヲ一貫的ニ運營スル、是ガ一番
宜イノデハナイカ、斯様ニ思フノデアリマ
ス、獨逸デモサウ云々タ機關デヤツテ居ツテ、

非常ナ成績ヲ擧ゲテ居ルヤウナ譯デアリマ
モノガ一貫シテ運營セラレナイ、森林組合
ナドヲ強制組合ニスル、サウシテ之ヲ國策
ノ線ニ沿ウテ經營セシメル、斯ウ云フ行キ
方ガ必要デハナイカ、或ハ又森林ハ一面火
災保險ナドモ出來マシタガ、是ト相俟ツテ種
苗法ナド作ツテハドウカ、斯ウ云ツタ計畫ヲ
ヤルノガ一番宜イノデハナイカ、是ハ學者
ノ研究ニ依ルノデアリマスガ、ソレニ依リ
マスト今申シマシタヤウナ數字デ經營致シ
マスレバ、將來八年收十三四億圓ノ收益ヲ
得ルコトガ出來ルト申シテ居リマス、數年
後ニ於テモ三億圓位ノ增收ハ期待出來ルト
ノ話デアリマス、三億ト申シマスレバ、今
度ノ増稅ノ額デアリマス、若シ此研究ノ結
果ト云フモノガ確ニ見ルベキモノガアルト
云フコトデアリマスナラバ、政府ニ於テハ
之ヲ一つ能ク御研究ヲ願ツテ、御英斷ヲ御執
リ願ヒタイ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、
若シ政府ニ於テ國家ノ收入ニ直接左様ナ重
大ナ關係ヲ有スルモノデアツテ、是ハ捨置キ
難イ、是非研究シテ見タイト云フヤウナ熱
心ナ御考ガアリマスナラバ、私ハ研究ノ結

○村上政府委員 森林行政ガ内地、北海道
或ハ樺太ト、互ニ所管ヲ異ニシテ居リマス
ガ爲ニ、其處ニ多少ノ不便ガゴザイマスト
云フコトハ、只今ノ仰セノ通リデゴザイマ
ス、ソレデ斯様ナコトニ付キマシテハ、之
ヲ一ツノ統一シタ方針ノ下ニ、畫一シタ方
策ヲ立テテ行クト云フコトハ極メテ必要ト
思ヒマス、併ナガラ内地、朝鮮、臺灣、北
海道、樺太ノ國有林ヲ一ツニ致シマシテ、
内閣直屬ノ局ヲ設クルカドウカト云フヤウ
ナコトハ、是ハ行政機構ノ大改革ノ問題ニ
モ觸レマスノデ、私カラ答辯ヲ致シマスコ
トハ僭越デゴザイマスカラ、避ケルノガ至
當ダラウト思ヒマス

尙ホ只今仰セノ學者ノ御研究ニ依リマシ
テ、三億万圓ノ國益ガ擧ルト云フ御計畫ガ
アリマスサウデゴザイマスガ、何カサウ云
フコトニ付テ適切ナ方策ガゴザイマスレ
バ、是ハ教ヘテ戴ケバ、私共トシテモ十分
ソレヲ参考ト致シマシテ、將來ノ計畫ヲ立
テタイト思ヒマス

或ハ是ハ主務大臣カラデモ伺フベキコト力
ト考ヘマス、ドウゾ大臣ニモ局長カラ御話
願ヒマシテ、是ハ一ツ眞剣ニ御研究ヲ願ヒ
タイト思ヒマス、今ノ學者ノ意見デアリマ
スガ、是ハ此先輩大家ニ相談ヲ致シマシテ、
私不日御届ケ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リ
マス

ソレカラ次ニ輸入爲替ノ問題ニ付テ御伺
ヲ致シタイノデアリマス、爲替ノ許可ガ容
易ニ得ラレナイト云フノデ、工業家ナドハ
隨分苦シonde居ル者ガアリマスコトハ申上
ゲル迄モナイコトデアリマス、御伺シタイ
ト思ヒマスノハ、是ハ事實問題デアリマシ
テ、只今御手許ニ差上ゲマシタ書面ヲ一寸
御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、輸入業者カラ
爲替許可ノ緩和方ノ陳情ヲ御受ニナッタ際
ニ、此際全國的ニ輸入消費ノ實情ヲ明示出
來得ル書類提出ヲ希望シ、同時ニ總括的輸
入統制ノ出來得ル團體ノ組織ヲ切望スルト
云フヤウナ意味ノ指示ヲ爲サツコトガアル
ノデアリマスカ、是ガ御伺致シタイ第一點
デアリマス、只今御手許ニ差上ゲマシタ其
趣意書ニ依リマスト、政府ノ以上述べマシ
タ指示ニ基イテ、日本「ファイバー・ヤーン」
輸入統制協會ト云フモノガ設立セラレテ居

ルヤウデアリマス、ソコデ私ガ心配致シマスルコトハ、輸入ショウト思ヒマスル原料、其原料ヲ欲スル工業家へ、其輸入統制協會ヲ通ジテ爲替フ許可ヲ受ケナケレバ、許可ガ得ラレナイモノデアルカ、ソンナ協會トハ關係無シニ、全然別個獨立ノ立場ニ立ツテ、個人トシテ許可ヲ申請シマシテモ、敢テ差支ナイモノデアルカ、之ヲ御伺シタイノデアリマス、ドウカシマスト、大キナ資本家ガコソナ協會ミタイナモノヲ作ッテ、サウンテ弱イ工業家ライデメル憂ガ多分ニアルノデアリマス、現實ノ問題トシテ是ハ非常ニ由々シイ問題デアル、斯様ニ思フノデアリマス、ソコデ製造業者個々ニ對シテ實情ヲ御調査ノ上ニ御許可ニナルノデアリマスカ、或ハサウ云ッタ協會ヲ通ジナケレバイカヌモハアリマスカ、此點ヲ御伺致シマス

○賀屋國務大臣 今拜見シマシタ書類ノコトハ私ハ存ジマセヌ、是ハ尙ホ調ベマシテ、適當ナ係ノ方カラ申上ゲルコトニ致サセヨウト思ヒマス、併シ大體ハ或ル品物ノ一年ノ輸入總量ト云フモノヲ、輸出ノ關係其他カラ、一定ヲ致シテ居リマス、ソレヲ何人ニ何時許スカト云フ場合ニハ、輸入關係者ノ團體ガ出來テ居リマス方ガ相互ニ非常ニ便利ナノデアリマス、サウデアリマセヌト、

前年度ノ輸入ノ實蹟ニ依リ、ソレヲ割合的ニ減ラストカ殖ヤストカシマシテ、個人個人ニ許シテ行ク、而モ或人ニ一時ニ許セバ、他ノ人ニハ、一年ヲ通ジタ資金ノ關係ノ中、

時々ノ資金ノ狀況ガアリマスカラ、許サレナイト云フコトニナリマス、隨テ之ニ關シマスル輸入業者全體ノ、一つノ統制アル團體ガ出來テ居リマス方ガ非常ニ便利デアリマスカラ、サウ云フ方ニ主トシテ商工省ノ方デ進ンデ居ルコトト私ハ考ヘマス、是ハ抽象的ノコトデアリマス、御尋ノ點ニ付キマシテハ調ベマシテ、係ノ者カラ御答ヲ申上ゲルヤウニ致シタイト思ヒマス

○馬場委員 御調ヲ願ヒマス時ニ、是モ尙ホ御伺ヲ致シテ置キタイト思ヒマスガ、サウ云ッタ協會ト云フモノガ出來マシテ、纏メテ爲替ノ許可ヲ得マシタ場合、若クハ其原料ヲ輸入致シマシタ場合ニ、今度ハ個々ノ工業家、製造業者ト云フ者ニ其輸入ノ價格ヨリモ高ク賣付ケルト云フヤウナ危險ガアウト思ヒマス、併シ大體ハ或ル品物ノ一年ノ輸入總量ト云フモノヲ、輸出ノ關係其他カラ、一定ヲ致シテ居リマス、ソレヲ何人ニ何時許スカト云フ場合ニハ、輸入關係者ノ團體ガ出來テ居リマス方ガ相互ニ非常ニ便利ナノデアリマス、サウデアリマセヌト、

藏當局ハ南工省ノ當局トモ御相談ニナッテ、壓迫ヲ蒙ルコトニナルノデ、此點ハ特ニ大善處シテ戴キタイ、斯様ニ考へマス、ソレハ現在デモ輸入ノ價格ヨリ高ク其協會ガ賣付ケルト云フヤウナコトハ、御取締リデアラウトハ思ヒマスケレドモ、尙ホ一ツ御願ナック只今、委員諸君ニハ沟ニ御氣ノ毒デアリマスガ、一寸バカリ時間ヲ拜借シタイト思ヒマス、是ハ地方問題デアリマスガ、事ハ國民思想ニ非常ナ關係ヲ有シテ居ル問題デアリマス、長崎ニ佐古招魂社ト云フ神社ガアッタノデアリマスガ、其招魂社ノ墓地ヲ大藏省ガ賣却シタ、此佐古招魂社ト申シマスノハ、明治七年五月ノ創設ニ係リマシテ、明治七年ノ臺灣征伐ニ於ケル戰死者ガ五百三十六柱、大正七年ノ長崎縣ノ戰死者ガ千二百四十二柱、本年ノ事變ニ於ケル戰死者ガ百二十五柱ト云ッタ風ニ御祀シテアルノデアリマス、而モ其附屬ノ墓地ニハ明治十

年ノ役ノ戰死者並ニ病沒者六百七十一名ノ遺骨ガ埋葬シテアルノデアリマス、而シテコトガアリマシタノデハ、是ハ大變ナ問題デ、小サナ工業家ト云フヤウナ者ハ非常ナリヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、左様ナコトガアリマシタノデハ、是ハ大變ナ問題デ、小サナ工業家ト云フヤウナ者ハ非常ナリマスガ、此招魂社ノ境内千六百五十三坪ヲレテ居ル所ノ由緒アル神社デアルノデアリマスガ、此招魂社ノ境内千六百五十三坪ノ内三百八十七坪ト云フモノヲ、今年ノ二月ノ末ニ熊本ノ稅務監督局カラ某ト云フ者ニ對シテ賣却シテ居ル、縣ノ社寺兵事課ニ付キマシテハ、早速ニ取調ベマシテ善處致モ挨拶モナケレバ、此招魂社ヲ管理致シテ居リマスル諏訪神社ノ宮司ニ對シテモ一言ノ挨拶モナイ、賣飛バシタ場所ハ、戰死者ノ遺骨ノ現ニ埋葬サレテ、英靈ノ眠ツテ居ル場所デアリマシテ、或ハ國有財產處分法ト云フヤウナ法規ノ上ニ於テハ所謂不適法デハナイカモ知レマセヌケレドモ、少クトモ妥當ナラズ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、殆ドアノ地方ノ人ハ全市民、縣民舉げテ憤慨ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、一ツ何トカ大藏省ノ方デ御取計ヒヲ願シテ保リニ佐古招魂社ノ境内ノ附屬墓地トシテ保有ヲ致シタイ、斯様ニ思フノデアリマス、長崎バカリヂヤアリマセヌ、大村ノ招魂社ノ墓地モ賣却スルゾト云フコトヲ佐世保ノ稅務署カラ通知ガアッテ、是亦大變騒イデ居リマス、時局柄斯ウ云フコトハ大イニ慎マナケレバナラヌト思ヒマス、地方問題デ恐入リマスガ、國民精神ニモ關係スルヤウナ問題デアリマスノデ、大藏當局カラ特ニ牒通デモ發シテ、長崎ノ方ハ賣買ヲ取消シテ復歸セシムル、大村ノ方ハ佐世保稅務署ニ通牒ヲ發シテ賣却シナイト云フコトニ出来マスルカドウカラ御伺シタイ

○賀屋國務大臣 只今ノ招魂社敷地ノ件ニ付キマシテハ、早速ニ取調ベマシテ善處致

シタイト考ヘマス

○馬場委員 今ノ問題ハ成ベク早急ニ御取計ヲ賜リタイト思ヒマス、以上デ質問ヲ終リマス

○高橋委員長 是デ本委員會ニ付託セラレマシタル各案ニ對スル質疑ハ大體終了致シマシタ、次會ニ於テ今マデ洩レタル重要ナル質疑等ニ對シ御許シヲ致ス機會ガアルト思ヒマスガ、大體ニ於テ本日ヲ以テ打切ト致シマス、次會ハ明後日、月曜日午後一時ヨリ開會スル豫定デアリマス、尙ホ政府ニ要求シテアリマス資料ノ大部分ハ御配付ニナリマシタガ、其中提出不可能デアルト云フ部分モ委員長ノ手許マデシルシヲ付ケラレテ通知ニナッテ居リマス、其中岡本君ヨリ御請求ニナッテ居リマスル一ツバカリノ重要ナル資料ハ、ドウシテモ提出シテ戴キタイト云フコトデ、ソレバ政府ニ要求シテアリマス、尙ホ不提出ノシルシノ付テ居ンコトヲ希望シテ置キマス、質疑ハ只今申上ゲマシタ通リ大體打切ルコトニ致シマスガ、重要ナル法案デアリマスカラ、尙ホ十分御熟議ノ上デ、次會ニ於キマシテハ討論マデ進ムコトガ出來ルコトト委員長ハ考ヘテ居リマスカラ、皆様ニ於カレマシテモ此

上トモ御精勵アランコトヲ希望スル次第デアリマス、本日マデ二十回ニ亘リマシテ、初メノ三回程ハ足踏ミヲシテ居タノデアリマスガ、後ハ日曜日ヲ除イテハ連日繼續シテ午前午後ニ亘ツテ御審議戴イタ點ハ、委員長トシテ多トスル次第デアリマス、此上更ニ御奮發セラレンコトヲ望ミマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時四十五分散會